801KW 標準セット

取扱説明書

はじめに

このたびは、「801KW」をお買い上げいただき、まことにありがとうございます。

- 801KWをご利用の前に、「クイックスタートガイド」、「お願いとご注意」および「取扱説明書（本書）」をご覧になり、正しくお取り扱いください。

ご注意

- 本書の内容の一部でも無断転載することは禁止されております。
- 本書の内容は将来、予告なしに変更することがございます。
- 本書の内容については万全を期しておりますが、万一ご不審な点や記載漏れなどお気づきの点がございましたら、お買い上げの販売代理店までご連絡ください。

取扱説明書について

記載内容について

取扱説明書では、基本的にお買い上げ時の状態での操作方法を説明しています。
また、特にことわりがない限りホーム画面からの操作を中心に説明しています。操作説明は省略している場合があります。

ディスプレイ表示、キー表示について

取扱説明書で記載しているディスプレイ表示は、実際の表示と異なる場合があります。取扱説明書で記載しているキー表示は、説明用に簡略化しているため実際の表示とは異なります。

本書での表記や画面表示について

本書において、あらかじめ次の内容についてご了承ください。

- 「801KW 標準セット」の機器構成を「本端末」と表記しています。
- 本端末に搭載されているIP無線用アプリケーションを「本アプリ」と表記しています。
- microSD™／ microSDHC™カードは「SDカード」と表記しています。
- 本書内に記載しているイラストや画面は、実際の形状や画面表示などと異なる場合があります。

操作手順の表記について

本書では設定の操作手順などにおいて、次の操作を簡略化して記載しています。

- ▲ ▼ ◀ ▶（方向キー）によるメニューやキーなどの選択操作
- ◻（決定キー）による選択項目の確定操作
- キーを1秒以上押す操作を、「長押し」と表記しています。

例）ホーム画面に表示されるアプリから⚙（設定）を選択し、メニューから▲ ▼（スクロールボタン）を動かして「端末情報」を選択し、◻（決定キー）で確定する操作を次のように記載します。

1　⚙（設定）→「端末情報」

登録商標について

- Bluetooth®は、米国Bluetooth SIG, Inc.の登録商標です。

目次

はじめに

取扱説明書について i

1　ご利用の準備　1

各部の名称とはたらき 2
電池パックについて 6
SIM カードについて 10
SD カードについて 13
充電する 15
電源を入れる／切る 16
スリープ状態を解除する 17

2　基礎知識／基本操作　21

基本的な操作のしくみ 22
マナーモードについて 23
機内モードについて 24
文字を入力する 24
ソフトウェアの更新について 26

3　画面の見かた　29

画面について 30
通知バーについて 31
通知パネルを利用する 32

4　IP 無線　35

主な機能 36
基本的な操作のしくみ 37
無線機情報について 41
通話／接続の設定をする 42
呼び出して通話する 42
通話履歴を確認する 47
着信に応答して通話する 49
番号帳を利用する 53
ショートカットを利用する 56
グループに登録する 57
通話を録音する 57
非常送信機能（RED ALERT) を使用する 59
状態表示機能を使用する 60
位置情報機能を使用する 61
メッセージ機能を使用する 61
IP 無線の設定をする 69
IP 無線をアップデートする 82

5　アプリの基本　85

アプリについて 86

6　便利な機能　89

緊急速報メールを利用する 90
ライトを点灯する 91
カレンダーを利用する 91
時計／アラームを利用する 95

7　Bluetooth　103

Bluetooth® 機能を利用する 104

8　端末設定　107

端末設定について 108
Bluetooth® 設定 109
データ使用量の設定 109
もっと見る 115
ディスプレイ設定 116
音の設定 118
ストレージの設定 124
電池の設定 125
アプリの確認 127
メモリの確認 127
位置情報の設定 128
セキュリティの設定 129
言語と入力設定 132
リセット 133
日付と時刻の設定 134
ユーザー補助の設定 136
端末情報 137

9　困ったときは　139

トラブルシューティング 140

10 保証／仕様／お問い合わせ先／使用許諾　143

保証とアフターサービス 144
仕様 145
お問い合わせ先一覧 146
使用許諾について 147

1　ご利用の準備

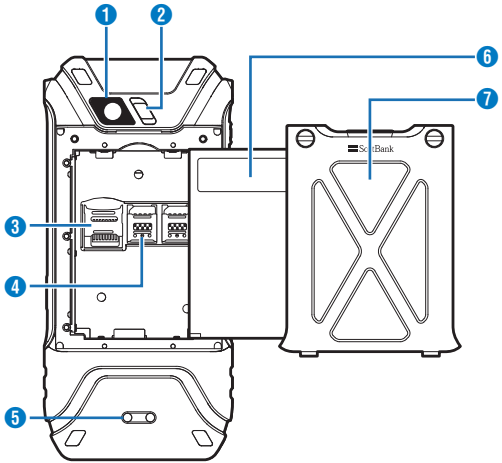
各部の名称とはたらき 2
電池パックについて 6
SIMカードについて 10
SDカードについて 13
充電する 15
電源を入れる／切る 16
スリープ状態を解除する 17

各部の名称とはたらき

本体正面／側面について

	名称	説明
❶	オプションコネクター	本端末では使用しません。（2018 年 11 月現在）
❷	マイク	自分の声を相手に伝えます。
❸	USB キャップ	USB 端子をふさいで水やホコリなどを防ぎます。
❹	LED	本端末の充電状態を表示します。また、通知が届くと点灯します。
❺	ディスプレイ	ホーム画面や待受画面、各種設定画面を表示します。
❻	スピーカー	通話相手の声が聞こえます。
❼	外部マイクコネクター	スピーカーやマイクを接続します。

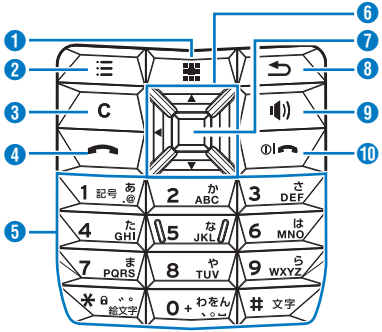
本体背面について

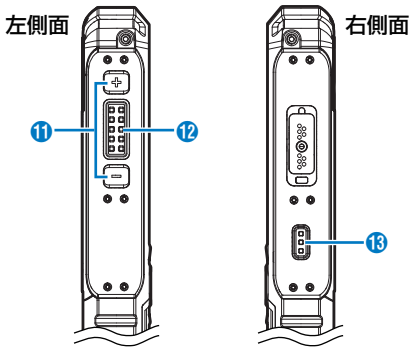


	名称	説明
1	背面カメラ	QR コードの読込を行います。（→ P.79）
2	背面フラッシュ	ライトとして利用できます。
3	SD カードスロット	SD カードの取り付け／取り外しを行います。（→ P.13）
4	SIM カードスロット	SIM カードの取り付け／取り外しを行います。（→ P.10） 2 つのスロットのうち、左側のスロット 1 のみ利用できます。
5	充電端子	本端末に対応した充電器を使って充電します。
6	電池パック	電池パックの取り付け／取り外しを行います。
7	電池カバー	電池カバーを開けて、電池パックや SIM カード、SD カードの取り付け／取り外しを行います。（→ P.6）

キーについて

IP無線アプリの利用中については、「キーのはたらき」（→P.39）をご覧ください。





	名称	説明
1	アプリキー	ホーム画面を表示します。 2 回連続して押すとアプリ一覧（タスクマネージャー）を表示します。（→ P.86） 長押しすると背面ライトの点灯／消灯を切り換えます。
2	メニューキー	現在表示している画面のメニューを表示します。
3	C クリアキー	入力した文字を削除します。
4	発話キー	本端末では使用しません。（2018 年 11 月現在）
5	テンキー	数字や文字を入力します。 画面ロックを設定している場合、＊を長押しして離すと画面ロックが解除されます。
6	▲ ▼ ◀ ▶ 方向キー	画面をスクロールします。 メニューを選択したり、カーソルを移動したりします。
7	決定キー	文字入力時の決定と改行を行います。 選択したメニューを実行します。
8	戻るキー	前の画面に戻ります。
9	音声モードキー	長押しして、マナーモードや作成したサウンドプロファイルに切り替えることができます。（→ P.120）

	名称	説明
⑩	⏻電源／ホームキー	長押しすると電源 ON ／電源 OFF します。（→ P.16） 電源が入っているときに押すとホーム画面を表示します。（→ P.30）
⑪	音量ボタン（＋／－）	操作音や通知音および通話音の音量を調節します。
⑫	PTT スイッチ	IP 無線の通話の発着信に使用します。（→ P.41）
⑬	非常スイッチ	IP 無線の非常送信機能（RED ALERT）を使用します。（→ P.59）

電池パックについて

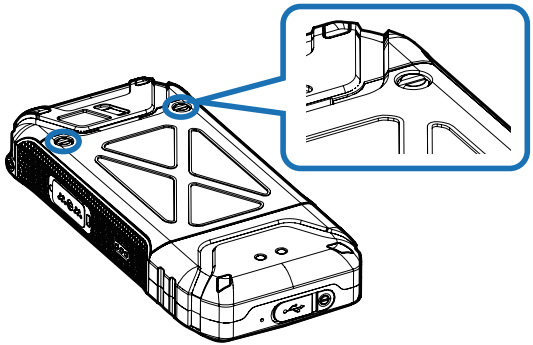
電池パックの取り付け／取り外しは、必ず電源を切り、ACアダプタを取り外した状態で行ってください。

！ご注意

- 本端末の電源が入っている状態で電池パックを取り外すと、データが消失・変化・破損することがあります。また、本端末の故障の原因ともなります。
- 本端末および電池パックの端子に触れないようご注意ください。

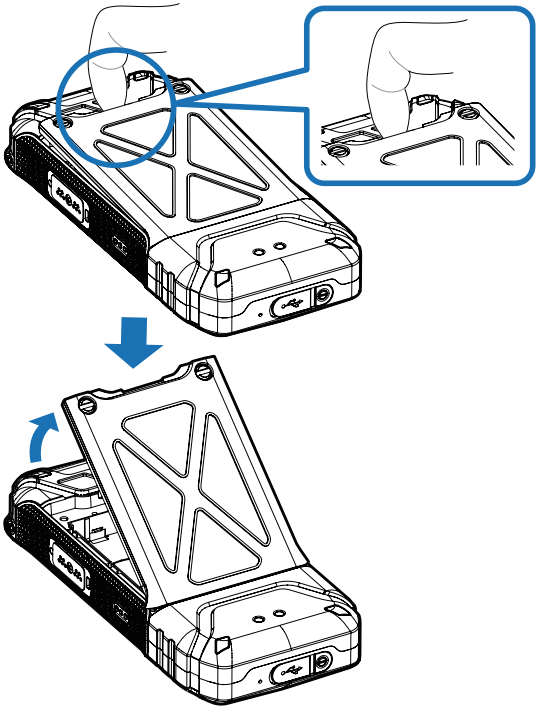
電池パックを取り付ける

1　付属のドライバーでネジを緩める

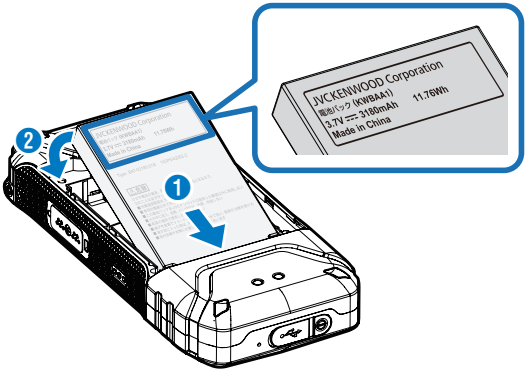


- ネジが緩むと、電池カバーが少し開きます。ネジは電池カバーから外れないようになっています。

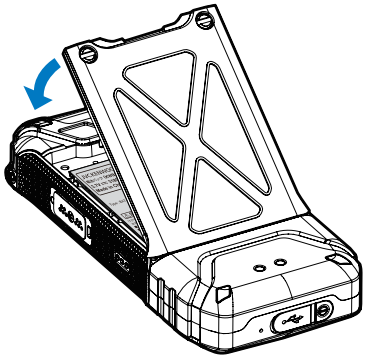
2　本体側の溝に指先を入れ、電池カバーを上に開いて取り外す



3　電池パックの機種名ラベルの印字面を上にして、電池パック下部の溝と本体の凸部、および端子の位置を合わせて❶の方向に押し付けながら、❷の方向に押し込んで取り付ける



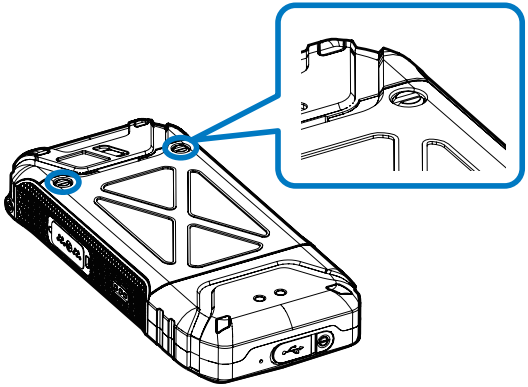
4　電池カバーの凸部と本体下部の溝を合わせて電池カバーを閉じ、付属のドライバーでネジを締める



- 閉じた後、防水／防塵性能を維持するために、浮いている箇所がないことを確認しながら確実に取り付け、付属のドライバーでネジを締めてください。

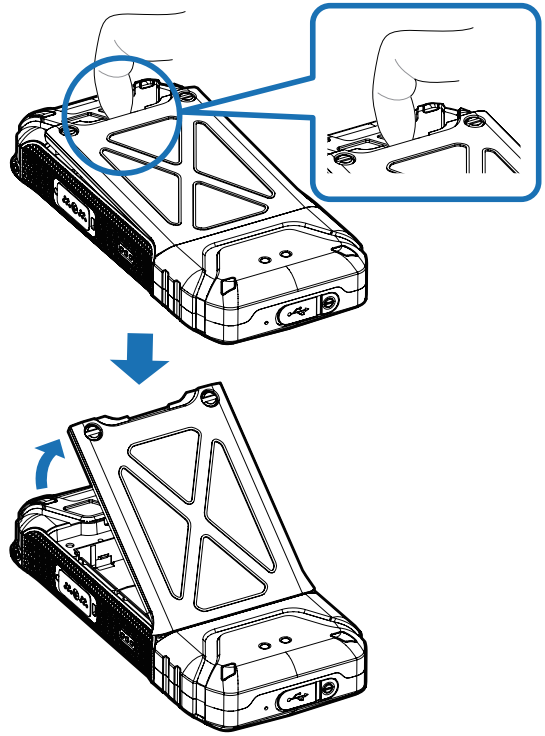
電池パックを取り外す

1　付属のドライバーでネジを緩める

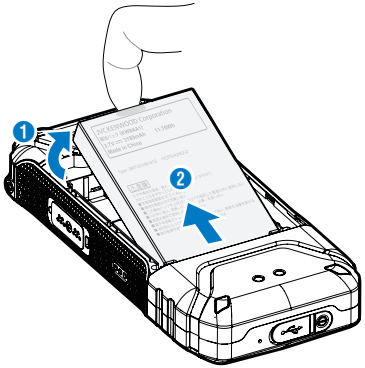


- ネジが緩むと、電池カバーが少し開きます。ネジは電池カバーから外れないようになっています。

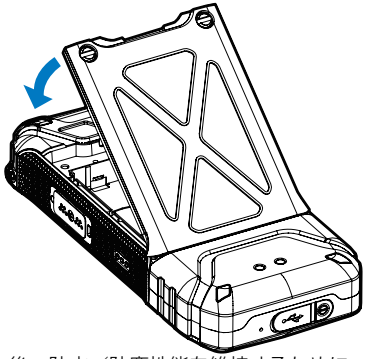
2　本体側の溝に指先を入れ、電池カバーを上に開いて取り外す



3　電池パック上部の凸部に指をかけて持ち上げ（❶）、❷の方向に引いて取り外す



4　電池カバーの凸部と本体下部の溝を合わせて電池カバーを閉じ、付属のドライバーでネジを締める



- 閉じた後、防水／防塵性能を維持するために、浮いている箇所がないことを確認しながら確実に取り付け、付属のドライバーでネジを締めてください。

使用済みバッテリーパックの取扱い注意事項

- プラス端子、マイナス端子をテープ等で絶縁してください。
- 被覆をはがさないでください。
- 分解しないでください。

Li-ion 00
充電式

不要になった電池は、貴重な資源を守るために廃棄しないで充電式電池リサイクル協力店、お買い上げの販売代理店へお持ちください。
リサイクルにご協力お願いいたします。

SIMカードについて

SIMカードは、お客様の電話番号や情報などが記録されたICカードです。

SIMカードのお取り扱い

- SIMカードのお取り扱いについては、下記のソフトバンクのウェブサイトをご覧ください。
https://www.softbank.jp/mobile/support/protect/usim/
- 他社製品のICカードリーダーなどにSIMカードを挿入し故障した場合は、お客様ご自身の責任となり当社は責任を負いかねますのであらかじめご注意ください。
- IC部分はいつもきれいな状態でご使用ください。

- お手入れは乾いた柔らかい布などで拭いてください。
- SIMカードにラベルなどを貼り付けないでください。故障の原因となります。
- SIMカードの所有権は当社に帰属します。
- 紛失・破損によるSIMカードの再発行は有償となります。
- 解約などの際は、当社にご返却ください。
- お客様からご返却いただいたSIMカードは、環境保全のためリサイクルされます。
- SIMカードの仕様、性能は予告なしに変更する可能性があります。ご了承ください。
- SIMカードや本端末（SIMカード挿入済み）を盗難・紛失された場合は、必ず緊急利用停止の手続きを行ってください。詳しくは、お買い上げの販売代理店までご連絡ください。
- SIMカードの取り付け／取り外しは、必ず電源を切った状態で行ってください。
- 本端末は専用SIMカードが必要です。本端末の専用SIMカードは、他の携帯電話機では使用できません。

SIMカードを取り付ける

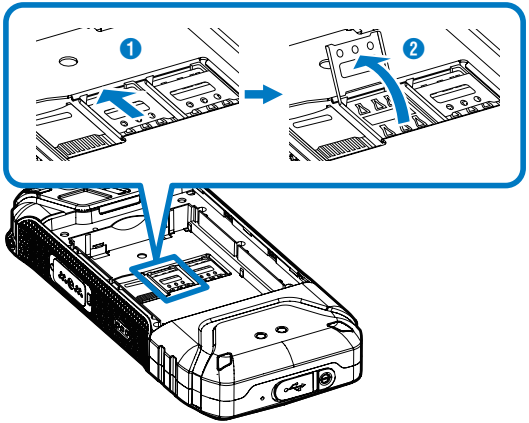
必ず電源を切ったあとで行ってください。
2つのスロットのうち、左側のスロット1のみ利用できます。

！ご注意

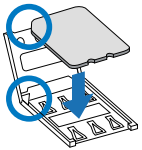
- IC 部分を取り外す際に、手や指を傷つける可能性がありますのでご注意ください。
- SIM カードを取り扱う際には、切断面にご注意ください。けがの原因となります。
- IC 部分を不用意に触れたりショートさせないでください。データの消失、故障の原因となります。

1　電池カバー／電池パックを取り外す（→P.8）

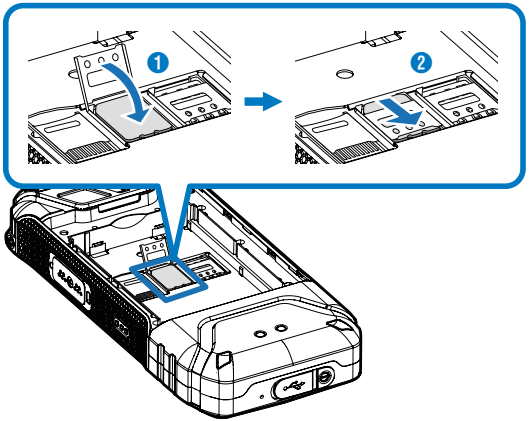
2　SIM1スロットカバーを矢印の方向にスライドしてロックを外し（❶）、上に持ち上げて開く（❷）



3　SIMカードのIC部分の面を下にして、切欠き部分を合わせてSIM1スロットに取り付ける



4　SIM1スロットカバーを閉じ（❶）、押さえながら矢印の方向にスライドしてロックする（❷）



5　電池カバー／電池パックを取り付ける（→P.6）

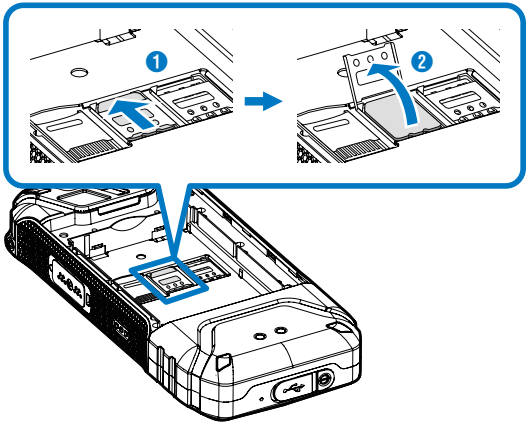
SIMカードの取り付けが完了します。

SIMカードを取り外す

必ず電源を切ったあとで行ってください。

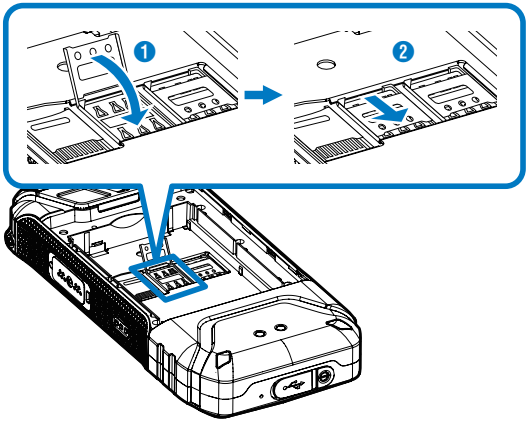
1　電池カバー／電池パックを取り外す（→P.8）

2　SIM1スロットカバーを矢印の方向にスライドしてロックを外し（❶）、上に持ち上げて開く（❷）



3　SIM1スロットからSIMカード取り外す

4　SIM1スロットカバーを閉じ（❶）、押さえながら矢印の方向にスライドしてロックする（❷）



5　電池カバー／電池パックを取り付ける（→P.6）

SIMカードの取り外しが完了します。

SDカードについて

本端末は最大32GBまでのSDカードに対応しています。ただし、すべてのSDカードの動作を保証するものではありません。

! ご注意

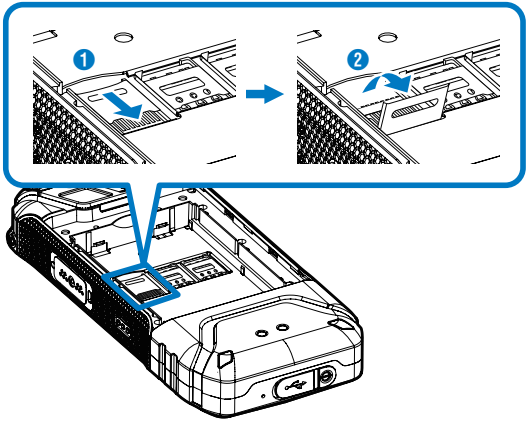
- SD カードの登録内容は、事故や故障によって、消失または変化してしまうことがあります。大切なデータは控えをとっておくことをおすすめします。なお、データが消失または変化した場合の損害につきましては、当社では責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
- データの読み出し中や書き込み中は、絶対に本端末の電源を切らないでください。
- 電池残量が少ないとデータの読み出しや書き込みができない場合があります。
- SD カードは、小さなお子様の手の届かない所で保管／使用してください。誤って飲み込むと、窒息する恐れがあります。

SDカードを取り付ける

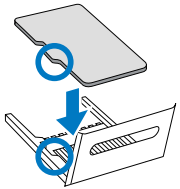
必ず電源を切り、電池パックを取り外してから行ってください。

1　電池カバー／電池パックを取り外す（→P.8）

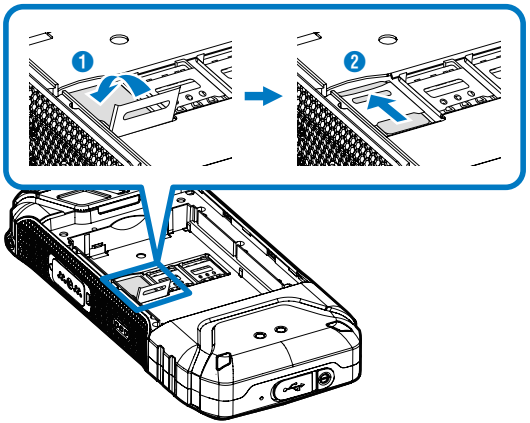
2　SDカードスロットカバーを矢印の方向にスライドしてロックを外し（❶）、上に持ち上げて開く（❷）



3　SDカードの金属端子面を下にして、切欠き部分を合わせてSDカードスロットに取り付ける



4　SDカードスロットカバーを閉じ（❶）、押さえながら矢印の方向にスライドしてロックする（❷）



5　電池カバー／電池パックを取り付ける（→P.6）

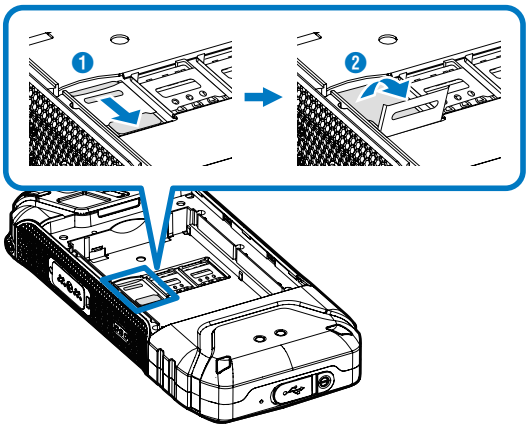
SDカードの取り付けが完了します。

SDカードを取り外す

必ず電源を切り、電池パックを取り外してから行ってください。

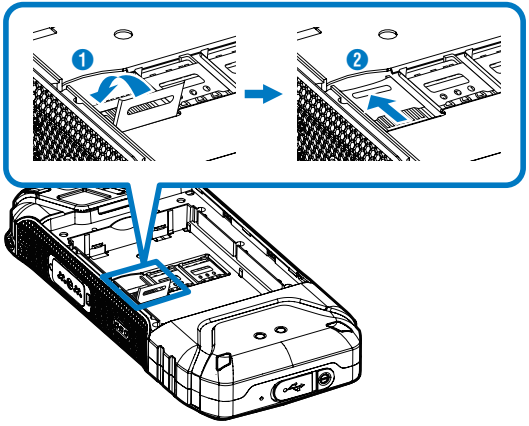
1　電池カバー／電池パックを取り外す（→P.8）

2　SDカードスロットカバーを矢印の方向にスライドしてロックを外し（❶）、上に持ち上げて開く（❷）



3　SDカードスロットからSDカードを取り外す

4　SDカードスロットカバーを閉じ（❶）、押さえながら矢印の方向にスライドしてロックする（❷）



5　電池カバー／電池パックを取り付ける（→P.6）

SDカードの取り外しが完了します。

充電する

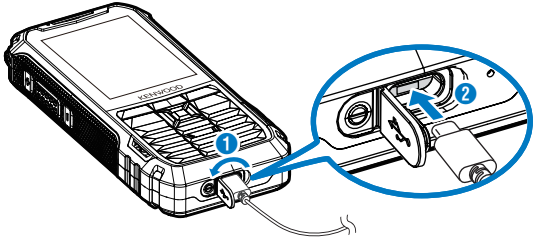
！ご注意

- 電池パックは、必ず本端末に取り付けた状態で充電してください。
- お使いになる AC アダプタの取扱説明書をご覧ください。

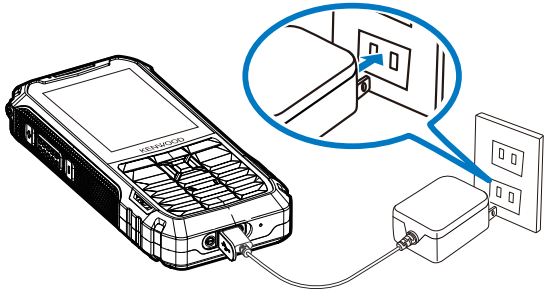
ACアダプタで充電する

ここでは、ACアダプタ（USB Type-C Quick Charge 3.0対応）［ZSCAZX］（SoftBank SELECTION製 USBType-C 急速充電ACアダプタ［SB-AC17-TCQC］）を使用して充電する方法を例に説明します。

1　本端末のUSBキャップを開き（❶）、ACアダプタのUSB Type-Cプラグを水平に差し込む（❷）



2　ACアダプタの電源プラグを家庭用ACコンセントに差し込む



充電が開始されます。充電中は、LEDが橙色もしくは赤色に点灯します。

- LEDが点灯しない場合は正しく充電がおこなわれていません。
  本端末のUSB接続端子からUSB Type-Cプラグを抜いて、再度USB接続端子の奥までUSB Type-Cプラグを差しなおしてください。USB Type-Cプラグを差しなおしたときにLEDが点灯することを確認してください。
  それでもLEDが点灯しない場合は、電池パックの装着が不完全となっている恐れがあります。
  充電端子にゴミなどが付いていないことを確認のうえ、再度電池パックを取り付けなおしてください。
- 充電が完了すると、LEDが緑で点灯します。
- 充電が完了したら、ACコンセントからACアダプタの電源プラグを抜き、本端末のUSB接続端子からUSB Type-Cプラグを水平に抜いてください。

電源を入れる／切る

電源を入れる

1　[⏻/☎]（長押し）

電源が入ると、待受画面が表示されます。

- 画面ロックが設定されている場合は、画面ロック解除画面が表示されます。画面ロックの解除については「画面ロックを解除する」（→P.19）をご覧ください。

電源を切る

1　[⏻/☎]（長押し）

2　「OK」

電源が切れます。

強制的に再起動する

本端末を操作しても画面が変わらない、アプリが開かないといった、正常に動作していない場合は、本端末を強制的に再起動してください。

1　画面に「SoftBank」と表示されるまで、[⏻]（長押し）

再起動します。

- 画面が消えて振動した後に「SoftBank」と表示されます。

スリープ状態を解除する

本端末を一定時間何も操作しないと、電池消費を抑えるため、画面が消灯してスリープ状態になります。
スリープ状態は、[⏻]または[🔊]キーを押して解除することができます。画面ロックを設定している場合は、「画面ロックを解除する」（→P.19）の手順に従ってロックを解除してください。
画面ロックの設定方法については、「画面ロックについて」（→P.18）ご覧ください。

スリープ設定について

本端末をスリープ状態にするまでの時間を設定できます。

1　⚙（設定）→「ディスプレイ」→「スリープ」

セットアップ画面が表示されます。

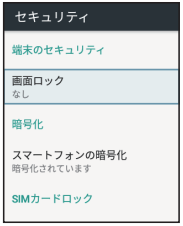
2　スリープ状態になるまでの時間を設定

設定が完了します。

画面ロックについて

画面ロックを設定することで、キー操作が無効になり誤動作や他人による使用を防止することができます。

1　（設定）→「セキュリティ」→「画面ロック」



- PIN番号の確認画面が表示された場合は、PIN番号を入力します。

2 「＊キーの長押し」／「PIN」

「＊キーの長押し」を選択すると、画面ロック設定が完了します。

- 「PIN」を選択すると、PIN番号の入力画面が表示されます。次の手順に進んでください。

3 PIN番号を入力→「次へ」→再度PIN番号を入力→「OK」

画面ロック設定が完了します。

画面ロックを解除する

1 画面ロック中に

スリープモードが解除され、ロック解除画面が表示されます。

2 ＊キーの長押し設定時：＊を長押し
PIN番号設定時：PIN番号を入力

画面ロックが解除されます。

2　基礎知識／基本操作

基本的な操作のしくみ 22
マナーモードについて 23
機内モードについて 24
文字を入力する 24
ソフトウェアの更新について 27

基本的な操作のしくみ

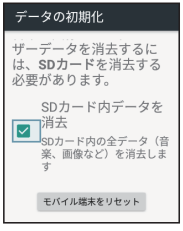
項目選択と画面移動

メニュー画面などでは、項目や画面のボタンを[▲][▼][◀][▶]で選択して[□](決定）押すと、該当する操作の画面に移動します。

- 1つ前の画面に戻るときは、[↩]を押します。
- 1画面内に表示されない項目がある場合は、[▲][▼]を押すと表示することができます。
- 販売代理店での設定により、項目が非表示またはグレー表示され選択できない場合があります。

端末設定と設定操作

設定項目には、チェックボックス（☑／☐）やラジオボタン（◉／○）、トグルスイッチ（◐／◑）が付いたものがあります。
チェックボックスは[▲][▼]で選択して[□](決定）を押すと有効（☑）／無効（☐）が切り替わります。



ラジオボタンの項目は[▲][▼]で選択して[□](決定）を押して選択します。通常、複数の選択項目から1つのみ選択できます。

トグルスイッチは[□](決定）を押すたびに有効（◐）／無効（◑）が切り替わります。

マナーモードについて

周囲に迷惑がかからないよう、通知音や操作音などが鳴らないように設定できます。

1 （設定）→音

音画面が表示されます。

2 「サウンドプロファイル」

サウンドプロファイル画面が表示されます。

3 「マナーモード」

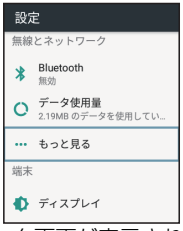
通知バーに アイコンが表示され、マナーモードに設定されます。

- を長押しして、マナーモードや作成したサウンドプロファイルに切り替えることができます。詳しくは「簡単プロファイル選択を設定する」（→P.120）をご覧ください。
- サウンドプロファイルの作成については、「オリジナルサウンドプロファイルを作成する」（→P.119）をご覧ください。

機内モードについて

電源を入れたまま、通話やメッセージの送受信など、電波を発する機能をすべて無効にできます。

1 （設定）→「もっと見る」



無線とネットワーク画面が表示されます。

2 「機内モード」

通知バーに アイコンが表示され、機内モードに設定されます。

- （決定）を押すたびに、ON（●）／OFF（○）が切り替わります

文字を入力する

キーボードについて

本端末の数字／文字入力キー（テンキー）を使って、ひらがな、漢字、カタカナ、英数字、記号を入力できます。
テンキーに割り当てられている文字は次のとおりです。

キー	ひらがな	英字 ※2	数字
1 記号 あ@	あいうえお１	．１，？！＠＇－：；／	1
2 ABC か	かきくけこ２	ａｂｃＡＢＣ２	2
3 DEF さ	さしすせそ３	ｄｅｆＤＥＦ３	3
4 GHI た	たちつてと４	ｇｈｉＧＨＩ４	4
5 JKL な	なにぬねの５	ｊｋｌＪＫＬ５	5
6 MNO は	はひふへほ６	ｍｎｏＭＮＯ６	6
7 PQRS ま	まみむめも７	ｐｑｒｓＰＱＲＳ７	7
8 TUV や	やゆよ８	ｔｕｖＴＵＶ８	8
9 WXYZ ら	らりるれろ９	ｗｘｙｚＷＸＹＺ９	9
0 + わをん	わをんゎ、。ー０	（半角スペース）	0
* a ゛゜ 絵文字	゛゜（大文字小文字切り替え ※1）	（絵文字）	
# 文字	（文字種切り替え）	（文字種切り替え）	

※1 文字入力中に有効です。
※2 アプリによっては使用できない文字があります。

文字入力の基本操作

文字入力にはテンキーを利用します。1つのキーには、キーに表示されているような複数の文字が割り当てられており、押す回数によって表示される文字が変わります。

- 変換候補の選択と確定は[▲][▼][◀][▶]と[□](決定)で行います。
- カーソルの移動は[▲][▼][◀][▶]で行います。
- 入力した文字を削除するときは[C]を押すと、カーソルの前にある文字が1文字削除されます。

文字種(文字入力モード)を切り替える

設定できる文字種は次のとおりです。文字種のアイコンは通知バーに表示されます。

アイコン	説明
あ	ひらがな
123	半角数字
abc	半角英字(小文字)
ABC	半角英字(大文字)

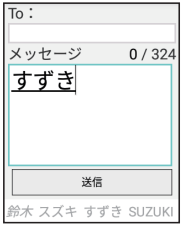
1　文字入力画面で[# 文字]

[# 文字]を押すたびに文字種が切り替わります。

文字を入力する

「鈴木」と入力する方法を例に説明します。

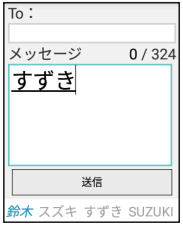
1　文字入力画面で[3 さ DEF]（3回：す）→[▶]→[3 さ DEF]（3回：す）→[＊ @ ゛゜ 絵文字]（1回：ず）→[▶]→[2 か ABC]（2回：き）→[▶]



入力した文字に従って、変換候補が表示されます。

- 一定時間が経過すると、カーソルが自動的に右に移動します。その場合、[▶]を押す操作は必要ありません。

2　[◀][▶]で変換候補から「鈴木」を選択



文字が変換されます。

ソフトウェアの更新について

ネットワークを利用してソフトウェア更新が必要かどうかを確認し、必要なときには更新ができます。

お知らせ

- 本端末の状況（故障・破損・水漏れなど）によっては、保存されているデータが破棄されることがあります。必要なデータは、ソフトウェア更新前にバックアップしておくことをおすすめします。なお、データが消失した場合の損害につきましては、当社は責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。

ご注意

- 更新が完了するまで、本端末は使用できません。ソフトウェア更新には時間がかかることがあります。
- 電波状況のよい所で、移動せずに操作してください。また、電池残量が十分ある状態で操作してください。更新途中に電波状態が悪くなったり、電池残量がなくなると、更新に失敗することがあります。更新に失敗すると本端末が使用できなくなることがあります。

ソフトウェアを更新する

1 ⚙（設定）→「端末情報」

端末情報画面が表示されます。

2 「システムの更新」

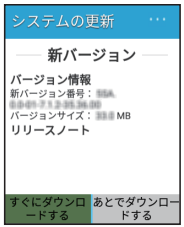
システム更新画面が表示されます。

3 「アップデートの確認」

確認結果が表示されます。

- すでに最新バージョンを使用している場合はアップデートの必要はありません。アップデートが必要な場合は次の手順に進んでください。

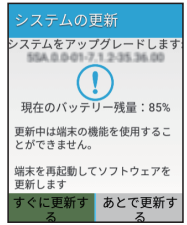
4 「すぐにダウンロードする」



ダウンロードが開始されます。

- 「あとでダウンロード」を選択すると、確認画面が表示されます。ダウンロードをしない場合は「OK」を選んでアップデートを終了してください。

5 「すぐに更新する」



アップデートが開始されます。

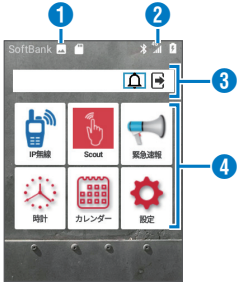
3　画面の見かた

画面について 30
通知バーについて 31
通知パネルを利用する 32

画面について

ホーム画面

ホーム画面は、IP無線などのアプリの起動、各種設定、各種通知の確認をするための画面です。
[⠿]または[⏻]を押したときに表示されます。



ホーム画面

	名称	説明
❶	通知アイコン表示部	カレンダーやアラームの通知などの各種通知アイコンを表示します。（→ P.31）
❷	システムアイコン表示部	電池レベルや電波レベルなど、本端末の状態に関する情報が表示されます。
❸	通知パネル表示アイコン	🔔を選択すると通知パネルが表示されます。 ⇥は本端末では使用しません。
❹	アプリアイコン表示部	各種アプリのアイコンを表示します。

通知バーについて

通知バーの見かた

画面上部の通知バー（❶）には、本端末の状態を示すアイコンが表示されます。

おもな通知アイコン

通知バーの左から表示される通知アイコンには、次のようなものがあります。

アイコン	説明
	緊急速報メールあり
	外部スピーカーマイク等接続中
	カレンダーの通知あり
	アラームの通知あり
	タイマー使用中
	ストップウォッチ使用中
	ソフトウェアのアップデートを検出
	ソフトウェアのアップデート実施済み
	非表示の通知あり

おもなステータスアイコン

通知バーの右から表示されるステータスアイコンには、次のようなものがあります。

アイコン	説明
	電池レベル
	充電中
	バッテリーセーバー設定中
	機内モード設定中
	SIM カード未装着
	電波レベル
	4G ネットワーク接続状態
	3G ネットワーク接続状態
	データセーバー設定中
	アラーム設定中
	ミュート中
	バイブレータ設定中
	Bluetooth® 利用可能
	Bluetooth® 接続中
	位置情報取得中
	文字入力

通知パネルを利用する

通知パネルでは、着信などの通知や実行中の機能を確認できます。

通知パネルを開く

1　ホーム画面で

通知一覧画面が表示されます。

通知パネルの見かた

通知パネルには、着信などの通知や実行中の機能が一覧表示されます。通知内容はスクロールして表示されます。

通知を確認する

1　ホーム画面で🔔

通知一覧画面が表示されます。

2　通知を選択→▢

メッセージ画面など、選択した通知に対応する画面が表示されます。

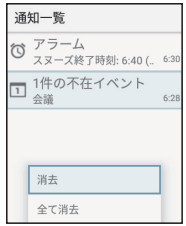
- 確認した通知は通知一覧から削除されます。

通知を削除する

1　ホーム画面で🔔

通知一覧画面が表示されます。

2　通知を選択→☰→「削除」



通知が削除されます。

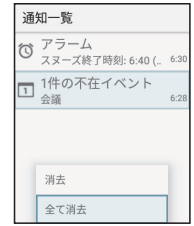
- 通知を選択→C でも通知を削除できます。

通知を全件削除する

1　ホーム画面で🔔

通知一覧画面が表示されます。

2　☰→「全て消去」



通知が削除されます。

4　IP無線

主な機能.....36
基本的な操作のしくみ.....37
無線機情報について.....41
通話／接続の設定をする.....42
呼び出して通話する.....42
通話履歴を確認する.....47
着信に応答して通話する.....49
番号帳を利用する.....53
ショートカットを利用する.....56
グループに登録する.....57
通話を録音する.....57
非常送信機能（RED ALERT)を使用する.....59
状態表示機能を使用する.....60
位置情報機能を使用する.....61
メッセージ機能を使用する.....61
IP無線の設定をする.....69
IP無線をアップデートする.....82

主な機能

本アプリでは、日本国内のソフトバンク携帯通信網を利用して、あらかじめグループとして設定されている他のIP無線機と、次のような通話や通信、機能が利用できます。

- 一斉通話やグループ通話、個別通話など様々な種類の通話ができます。
- 番号帳や通話履歴から他のIP無線機の個別番号を選択して、メッセージを送信できます。
- 本アプリで設定した状態情報、GPS情報を使用して、801KWの動態情報を確認することができます（オプションサービス）。

指令局と移動局について

同一グループ内のIP無線機の管理用として、任意の801KWを「指令局」に設定することができます。「指令局」とは、IP無線機位置情報サービスとペアで使用するIP無線機で、管理者が使用します。指令局以外の一般ユーザーが使用するIP無線機を「移動局」と呼びます。

- 指令局では次のことが行えません。
  - 「指令局呼出」の使用
  - 「近隣呼出」の使用
  - 非常送信機能（RED ALERT）の使用
  - 状態表示機能の使用
  - 位置情報機能の使用
  - メッセージ機能の使用
  - グループ登録機能の使用

指令局転送機能（すべり）について

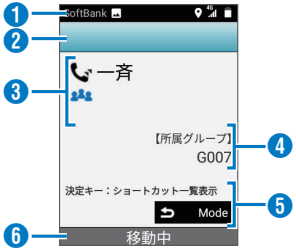
移動局からの「グループ呼出」「強制グループ呼出」「地域呼出」「近隣呼出」には、１つの指令局が含まれます。
指令局が複数ある場合は一番若い番号の指令局が呼出対象となります。
「一斉呼出」「強制一斉呼出」では、全指令局または１つの指令局が呼出対象となります。
なお、お申し込み時に「指令局転送機能（すべり）」の「あり」「なし」を選択でき、動作は次のようになります。

呼出モード	指令局転送機能（すべり）	
	あり	なし
「グループ呼出」 「強制グループ呼出」 「指令局呼出」 「地域呼出」 「近隣呼出」 「音声モニタ」	呼出対象となる指令局が話中の場合、次に若い番号が自動的に呼出対象となります。	指令局が通話中の場合、他の指令局への接続はできません。
「一斉呼出」 「強制一斉呼出」	すべての指令局が呼出対象となります。	一番若い番号の指令局だけが呼出対象となり、他の指令局への接続はできません。

基本的な操作のしくみ

起動と待受画面

待受画面は、本アプリの操作の中心となる画面です。電源を入れた直後や C を押したときなどに表示されます。



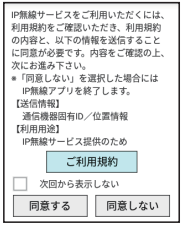
	名称	説明
❶	通知バー	本アプリが通知バーに表示するアイコンには、次のようなものがあります。 ：操作制限モード中 ：不在着信あり ：未読メッセージあり ：RED ALERT 状態
❷	通話状態表示部	通信状況や GPS 情報の取得状況を色で通知します。 灰色：未接続 青色：接続完了・GPS 情報取得時 橙色：接続完了・GPS 情報未取得時 RED ALERT 状態（→ P.59）、操作制限モード中は右端にアイコン を表示します。
❸	待受表示部 ※1	発着信情報や未読メッセージの件数などを表示します。 未読メッセージがない場合、未読メッセージのアイコン、件数は表示されません。
❹	グループ表示部 ※2	グループに所属している場合、所属しているグループ名を表示します。 複数のグループに所属している場合は、グループ一覧（所属グループ）画面で表示される先頭のグループ名のみ表示します。グループに所属していない場合、グループ名は表示されません。 本端末の電源 ON、グループ一覧確認やグループ登録（→ P.78）によりグループ情報を取得した場合に表示内容を更新します。
❺	キーガイド	（決定）、 を押したときの動作を表示します。
❻	状態表示部	状態表示変更画面で設定した状態を表示します。（→ P.60）

※1 名称が長い場合は省略文字(…)で表示されます。
※2 位置情報サービスにて所属グループが変更された場合、変更されたグループ情報を本アプリが取得するまで表示は更新されません。

お知らせ

- 初回起動時は、ご利用規約の同意確認画面が表示されますので、次の操作手順で本アプリを起動してください。

1　ご利用規約を確認して「同意する」



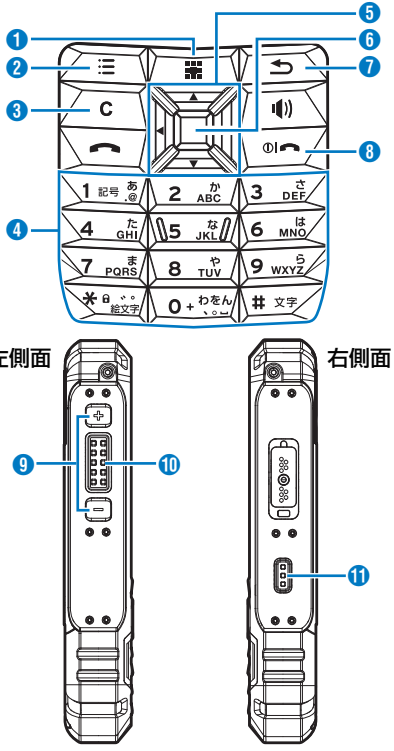
- 「ご利用規約」からご利用規約画面を表示することができます。
- 「次回から表示しない」にチェックを入れると、次回電源を入れても同意確認画面は表示されません。ただし、本アプリのアップデートによりご利用規約が変更された場合や設定情報をリセットした場合は再度表示されます。

- 起動時にアップデートを促すメッセージが表示された場合は、（Scout）アプリアップデータより本アプリをアップデートしてください。本アプリのアップデート後、本端末を必ず再起動してください。（→P.83）
- 本アプリ以外を使用しているときでも、ホーム画面で を選択したり、PTTスイッチを押すと本アプリを表示できます。

メニュー操作

待受画面で［☰］を押すと、本アプリで利用できる機能のメニュー画面が表示されます。また、各機能の画面で［☰］を押すと、その画面で利用できる設定や項目が表示されます。

キーのはたらき



	キー	説明
❶	アプリキー	ホーム画面を表示します。（→P.86）
❷	メニューキー	待受画面で機能メニューを表示します。また、長押しすると設定画面を表示できます。 「一斉呼出」「強制一斉呼出」「グループ呼出」「強制グループ呼出」での通話時に、その通話から抜けることができます。（→P.51）
❸	C クリアキー	操作中、または操作後の各画面から待受画面に戻ります（文字入力画面表示中は除く）。 入力した文字や数字を消去します。 「クリア /PTT 個別切替設定」を「クリアキーで個別切替」に設定している場合は、「個別呼出」「指令局呼出」以外の着信に応答してから、発信者との個別通話に切り替えることができます。（→P.50） 発信側の場合は、通話を終了できます。 個別通話中の場合は、着信側で「終話設定」（→P.70）を「発信側、着信側から終話可能」に設定していると着信側から通話を終了できます。

	キー	説明
❹	テンキー	数字や文字を入力します。 待受画面で数字キーを長押しすると、登録されているショートカットが起動します。 各メニュー画面で数字キーを押すと、指定の画面に移動します。 番号帳画面で指定のタブに移動します。 「端末管理アプリ」（→ P.129）の「IP 無線」にチェックを入れ、「画面ロック」を「なし」以外に設定している場合、[＊ 絵文字]を長押しするとバックライトが消灯し画面がロックされます。「画面ロック」が「なし」の場合、スリープモード（バックライト消灯）に移行します。 待受画面で[# 文字]を長押しすると[C]、PTT スイッチ、[＊ 絵文字]、[# 文字]、音量ボタン、[⊞]、[⏻]、[🔊]、非常スイッチ以外のキー操作を無効にできます。（操作制限モード）

	キー	説明
❺	[▲][▼] [◀][▶] 方向キー	メニューなどの項目の選択に使用します。 上：待受画面で状態変更画面を表示します。 下：待受画面で番号帳画面を表示します。 左：待受画面で着信履歴画面を表示します。 右：待受画面で発信履歴画面を表示します。
❻	決定キー	メニューなどの項目の決定に使用します。 待受画面でショートカット一覧画面を表示します。不在着信があるときは、不在着信画面を表示します。
❼	[↩]戻るキー	呼出モード（通話モード）を切り替えます。 メニュー選択などの操作時に押すと、１つ前の画面に戻ります。 発信側の場合は、通話を終了できます。 個別通話中の場合は、着信側で「終話設定」（→ P.70）を「発信側、着信側から終話可能」に設定していると着信側から通話を終了できます。

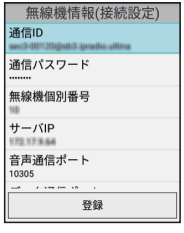
	キー	説明
❽	⏻電源／ホームキー	長押しすると電源 ON ／電源 OFF します。（→ P.16） 電源が入っているときに押すとホーム画面を表示します。（→ P.30）
❾	音量ボタン（＋／－）	通話中は（＋）で受話音量を上げ、（－）で受話音量を下げます。 通話中以外は（＋）で通知音量を上げ、（－）で通知音量を下げます。（画面ロック中も有効）
❿	PTT スイッチ	通話の発信や、着信時の応答に使用します。発話時に長押ししている間は音声が送信されます。 「クリア /PTT 個別切替設定」を「PTT スイッチで個別切替」に設定している場合は、「個別呼出」、「指令局呼出」以外の着信に応答してから、発信者との個別通話に切り替えることができます。（→ P.50）
⓫	非常スイッチ	非常送信機能（RED ALERT）を起動／解除します。（→ P.59）

無線機情報について

自分の無線機情報を確認する

本アプリで通話やメッセージを送信する場合は、電話番号の代わりに無線機に割り当てられた番号を入力します。個別呼出に使用する自分の無線機個別番号などの情報を確認するときは、次の操作手順を行います。

1　待受画面で［☰］を長押し→「接続設定」→「無線機情報（接続設定）」



お知らせ

- 販売代理店にて、変更できないように設定されている項目は表示されません。

通話／接続の設定をする

通話機能を利用する前に、「接続設定」（→P.69）は必ずおこない、その他の設定については必要に応じて設定してください。

呼び出して通話する

本アプリの呼出モード（通話モード）は次のとおりです。

呼出モード（通話モード）	画面表示	呼出音	説明
一斉呼出	一斉	ピー	相手の番号を指定せず、着信可能な IP 無線機に対して一斉発信します。
強制一斉呼出	強制一斉	ピー	相手の番号を指定せず、着信可能な IP 無線機に対して一斉発信します。相手が通話中でも、強制的に割り込んで呼び出します。
グループ呼出	G	ピロピロッ	グループ番号を指定し、複数の相手に発信します。発信相手には指令局も含まれます。
強制グループ呼出	強制 G	ピロピロッ	グループ番号を指定し、複数の相手に発信します。相手が通話中でも、強制的に割り込んで呼び出します。発信相手には指令局も含まれます。
個別呼出	個別	ピロッ	相手の番号を指定し、発信します。
指令局呼出	指令局	プッ	指令局の番号を指定し、発信します。
地域呼出 ※1	地域	ピ・ロ	地域番号を指定し、その地域にある IP 無線機に対して発信します。発信相手には指令局も含まれます。位置情報機能を有効に設定している場合に利用できます。
近隣呼出 ※1	近隣	ピロピ	本端末の周辺にある IP 無線機に対して発信します。発信相手には指令局も含まれます。位置情報機能を有効に設定している場合に利用できます。

※1 オプションサービスに加入する必要があります。
・「呼出モード設定」（→P.72）で選択している呼出モード（通話モード）のみ利用できます。

1 待受画面で ⮌

- ⮌ を押すたびに、呼出モード（通話モード）が次の順で切り替わります（「呼出モード設定」で選択している呼出モード（通話モード）のみ表示されます）。

→「一斉」→「強制一斉」→「G」→「強制G」→「個別」→「指令局」→「地域」→「近隣」→

- 「一斉」「強制一斉」「近隣」を選択した場合は、手順3に進みます。

2 番号を入力

- 「グループ呼出」「強制グループ呼出」の場合は3桁の番号（001～200）、「個別呼出」の場合は4桁の番号（0001～9999）、「指令局呼出」の場合は2桁の番号（01～15）、「地域呼出」の場合は2桁の番号（01～08）を入力します。

3 PTTスイッチを押す

接続が完了すると、通話中画面が表示されます。相手が応答（音声を送信）している間は応答中画面が表示されます。

- 「RBT利用設定」（→P.70）を「発信時選択」に設定している場合は、確認画面が表示されます。RBT機能を利用する場合は「RBT呼出」を、利用しない場合は「通常呼出」を選択してください。
- 接続に失敗した場合は、待受画面に戻り、「通話×」と失敗した理由が通話状態表示部に表示されます。
  「呼出先通話中」：相手が通話中のとき
  「利用できない呼出モードです」：利用できない呼出モード（通話モード）で発信したとき
  「呼出先誤り」：相手の番号が正しくないとき
  「接続失敗」：7秒（RBT機能利用時は17秒）経過しても相手が応答しないとき

通話中または応答中は次のように画面表示されます。

通話中画面

応答中画面

	項目	説明
1	呼出モード（通話モード）	「一斉呼出」「強制一斉呼出」「近隣呼出」以外は、右側に番号が表示されます。
2	発信アイコン	：RBT 機能を利用していない発信 ：RBT 機能を利用した発信
3	呼出モード（通話モード）アイコン	番号帳に登録されている場合は、登録されているカテゴリの色で表示されます。
4	番号帳名称	番号帳に登録されている場合は、登録されている名称が表示されます。 番号帳に登録されていない場合、名称は表示されません。 名称が長い場合は省略文字 (…) で表示されます。
5	通話者情報	「個別呼出」「指令局呼出」以外は、応答している相手の情報が表示されます。 名称が長い場合は省略文字 (…) で表示されます。
6	通話時間	「通話時間表示設定」（→ P.75）で設定した内容が表示されます。

■ **音声を送信（発話）する場合**

PTTスイッチを押しながら話します。PTTスイッチを押し続けている間、音声が送信されます。

- 通話中画面が表示されていることを確認してからPTTスイッチを押して、話し始めてください。
- PTTスイッチを押してから間を空けずに話し始めると、通話の頭が途切れることがあります。このような場合は、PTTスイッチを押して、一呼吸おいてから話し始めてください。

4 通話を終了する場合は［⮌］（終話）

- ［C］を押しても通話を終了できます。

お知らせ

- 通話時間は送信と受信あわせて最大5分です。5分を経過すると、自動的に切断され、待受画面に戻ります。切断される約10秒前に通知音でお知らせします。
- 無通話状態が続いた場合、「無通話タイムアウト」（→P.70）で設定した時間が経過すると、自動的に切断されます。
- RBT機能（→P.70）を利用して発信した場合、相手が応答しないまま約17秒が経過すると、発信は切断されます。
- 終話操作後、他の画面に切り替わる際に2秒～3秒かかることがあります。
- 「通話時間表示設定」（→P.75）で通話中画面に通話時間を表示するどうかを設定できます。表示される通話時間は目安となりますのでご注意ください。
- 「圏外時、切断ON／OFF設定」（→P.76）の設定によっては、通話中に電波状態が悪くなったとき、通話が切断される場合があります。
- 相手が着信する前に発信を切断した場合も、発信履歴が残ります。また、相手の着信履歴にも残ることがあります。
- 「未所属グループ 発信抑止設定」（→P.77）で本端末が登録されていないグループへ発信できないように設定できます。
- ロック画面表示中は発信することができません。

通話履歴から呼び出す

通話履歴については、「通話履歴を確認する」（→P.47）をご覧ください。

1　待受画面で◀（着信履歴）または▶（発信履歴）

2　発信する履歴を選択→PTTスイッチを押す

- 履歴を選択してPTTスイッチを押しても発信できます。

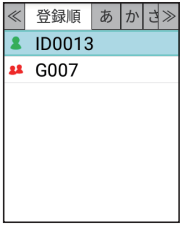
お知らせ

- RBT機能を利用した着信履歴や発信履歴から発信する場合でも、「RBT利用設定」（→P.70）の設定が優先されます。

番号帳から呼び出す

番号帳については、「番号帳を利用する」（→P.53）をご覧ください。

1　待受画面で▼



2　発信する相手を選択→PTTスイッチを押す

- 相手を選択してPTTスイッチを押しても発信できます。

ショートカットから呼び出す

ショートカットについては、「ショートカットを利用する」（→P.56）をご覧ください。

1　待受画面で「0」～「9」（発信するショートカットの番号）を長押し→PTTスイッチを押す

- 待受画面で□（決定）→発信するショートカットを選択→PTTスイッチを押しても、発信できます。

バックグラウンド時に呼び出す

本アプリの画面が表示されていないときでも発信、発話や待受画面を表示することができます。

1　本アプリの画面が表示されていないときにPTTスイッチを押す

待受画面に切り替わり、直前に表示していた呼出先が表示されます。

- 「PTTスイッチ設定」（→P.75）を「発信・発話」に設定している場合は、手順2に進みます。

2　PTTスイッチを押す

画面に表示されている呼出先に発信します。

- 「呼び出して通話する」（→P.44）の手順3以降と同じ手順で通話ができます。

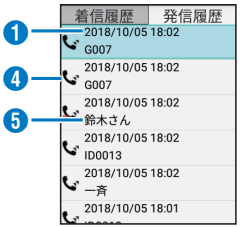
通話履歴を確認する

本アプリに保存される着信履歴／発信履歴は、それぞれ最大100件です。

1　待受画面で◀（着信履歴）または▶（発信履歴）

- 待受画面で☰→「発着信履歴」を選択しても、通話履歴を確認できます。

着信履歴画面



発信履歴画面

	項目	説明
❶	着信日時／発信日時	着信日時／発信日時が表示されます。
❷	着信アイコン	：RBT 機能を利用していない着信 ：RBT 機能を利用した着信 ：RBT 機能を利用していない着信（不在着信） ：RBT 機能を利用した着信（不在着信）

	項目	説明
❸	発信元情報	呼出モード（通話モード）と番号が表示されます。 番号帳に登録されている場合は、登録されている名称が表示されます。 「個別呼出」「指令局呼出」以外は、右側に発信元の種別（「個別」または「指令局」）と番号が表示されます。 名称が長い場合は省略文字（…）で表示されます。
❹	発信アイコン	：RBT 機能を利用していない発信 ：RBT 機能を利用した発信 接続に失敗した発信は、アイコンに ✕ が付きます。
❺	発信先情報	呼出モード（通話モード）と番号が表示されます。 番号帳に登録されている場合は、登録されている名称が表示されます。 名称が長い場合は省略文字（…）で表示されます。

お知らせ

- 着信履歴画面／発信履歴画面で履歴を選択すると、待受画面に選択した履歴の呼出モード（通話モード）と番号が表示され、PTTスイッチを押すと発信できます。

発信履歴画面／着信履歴画面で使用できる機能

発信履歴画面／着信履歴画面で［☰］を押すと、次の機能を使用できます。

項目		説明
メッセージ作成 ※1		選択した履歴の呼出モード（通話モード）が「個別」の場合、メッセージを作成します。
削除 ※2	1 件削除	履歴を 1 件削除します。
	選択削除	履歴を複数選択して削除します。
	全件削除	履歴を全件削除します。
ショートカット登録 ※3		選択した履歴をショートカットに登録します。

※1「メッセージ送信設定」（→P.72）にチェックを入れている場合のみ、操作できます。
※2「発着信履歴 削除機能設定」（→P.72）を「利用する（削除可）」に設定している場合のみ、操作できます。なお、一度削除された通話履歴は元に戻すことはできません。
※3「ショートカット機能設定」（→P.72）を「利用する（編集可）」に設定している場合のみ、操作できます。

着信に応答して通話する

ここでは、RBT機能（→P.70）を利用した着信の場合を例に説明します。RBT機能を利用していない着信の場合は、本端末が自動応答し、手順2の画面が表示されます。

1　着信を受ける

- 「個別呼出」「指令局呼出」「グループ呼出」「地域呼出」「近隣呼出」の場合はプププッ、「一斉呼出」の場合はプーという通知音が鳴ります。

2　PTTスイッチを押す

通話中画面

- 「個別呼出」「指令局呼出」以外の場合は、着信したいずれかのIP無線機が応答操作を行い、音声を送信すると通話中画面に切り替わります。
- PTTスイッチを押し続けることで手順3に進みます。

3　PTTスイッチを押しながら話す

PTTスイッチを押し続けている間、音声が送信されます。

- PTTスイッチを押してから間を空けずに話し始めると、通話の頭が途切れることがあります。このような場合はPTTスイッチを押して、一呼吸おいてから話し始めてください。

お知らせ

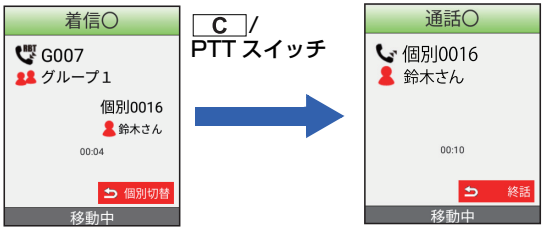
- 音声着信が可能な状態で、本端末操作中に音声着信があると、操作は中断され着信状態となります。
- 画面ロック中でも着信があると、着信状態となります。
- 通話時間は送信と受信あわせて最大5分です。5分を経過すると、自動的に切断され、待受画面に戻ります。切断される約10秒前に通知音でお知らせします。
- 「終話設定」（→P.70）を「発信側、着信側から終話可能」に設定している場合は、[⮌]（終話）または[C]を押すと通話を終了できます。ただし、個別通話中のみ有効です。

着信を個別通話に切り替える

「個別呼出」「指令局呼出」以外の着信の場合、応答後に発信者との個別通話に切り替えることができます。

- 「クリア／PTT個別切替設定」（→P.70）を「クリアキーで個別切替」または「PTTスイッチで個別切替」に設定する必要があります。

1　通話中画面で[C]またはPTTスイッチを押す



発信者との個別通話に切り替わります。通話時間はリセットされ、再びカウントが始まります。

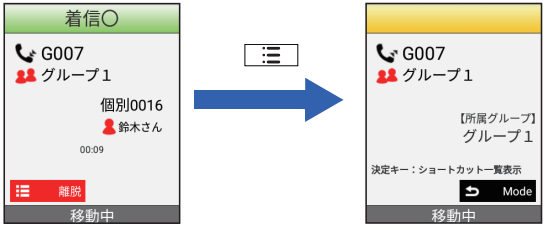
- 通話中画面で[⮌]（個別切替）を押しても、個別通話に切り替わります。

通話から抜ける

「一斉呼出」「強制一斉呼出」「グループ呼出」「強制グループ呼出」での通話時に、その通話から抜けることができます。

- 「通話離脱設定」（→P.70）を「常時利用（常に離脱可）」または「強制以外利用（強制通話は離脱不可）」に設定する必要があります。

1　通話中画面で［☰］（離脱）



お知らせ

- 発信者も通話から抜けることができます。その場合は、着信側で「通話離脱設定」を「利用しない（離脱不可）」に設定していると、終話操作ができないため、通話時間が5分を経過するか「無通話タイムアウト」（→P.70）で設定した時間だけ無通話状態が続いたときに通話が終了します。

不在着信を確認する

着信に応答しない（PTTスイッチを押さない）まま着信／通話が切断された場合、通知バーにアイコンが表示され、通知音が鳴り（バックライト消灯時にはLEDも緑点滅）、着信があったことをお知らせします（不在着信通知）。不在着信があったときは、待受画面ではなく不在着信画面が表示されます。

- 「不在着信通知設定」（→P.70）を「指令局からの個別着信で利用」または「指令局・移動局からの個別着信で利用」に設定する必要があります。
- 「個別呼出」「指令局呼出」以外の着信は、不在着信として通知されません。

1　確認する不在着信を選択→［☰］→「1件確認」

選択した不在着信が確認済みとなり、不在着信画面から削除されます。

- すべての不在着信を確認済みにするには、「全件確認」を選択します。

■ 不在着信の相手に発信する場合

不在着信を選択してからPTTスイッチを押します。

お知らせ

- すべての不在着信を確認するか発信するまで、不在着画面、通知バーのアイコンが表示されます。待受画面を表示するには、不在着信画面で C または ⮌ を押します。
- 不在着信がある場合は、番号帳画面でデータを選択するか、番号帳詳細表示画面で □ を押しても、待受画面ではなく不在着信画面が表示されるため発信できません。不在着信がある場合の番号帳からの発信は、「番号帳から呼び出す」（→P.46）をご覧ください。
- 不在着信の通知音は、本アプリが表示されているときに、☰、⏻、📞、⠿以外のいずれかのキーを押すと止めることができます。また、スリープモードや画面ロック中は、ロックを解除してから本アプリを表示して同様の操作をおこない止めることができます。

バックグラウンド時の着信に応答する

本アプリ以外を使用しているときでも着信に応答することができます。

- RBT機能を利用した着信の場合は、着信中画面に切り替わり、「着信に応答して通話する」（→P.49）と同じ手順で通話ができます。ここでは、RBT機能を利用していない着信の場合を説明します。

1 バックグラウンド時に着信

自動応答し、受話音声が出力されます。

- 着信中画面には切り替わりません。

2 PTTスイッチを押す

通話中画面に切り替わります。

- 「PTTスイッチ設定」（→P.75）を「発信・発話」に設定している場合は、PTTスイッチを押し続けると手順3に進みます。

3 PTTスイッチを押しながら話す

PTTスイッチを押し続けている間、音声が送信されます。

4 ⮌

通話を終了します。

- 「終話時表示機能設定」（→P.75）を「利用しない」に設定している場合は、着信前の画面に戻ります。

お知らせ

- 通話時、本アプリ以外の音（時計やカレンダーのアラーム音など）は小さくなり、通話終了後に設定した音量で鳴動します。
- 通話時、本アプリ以外の音（時計やカレンダーのアラーム音など）が鳴動中にPTTスイッチを押し続けるとアラーム音なども送信されますので、アラームを消してから通話してください。

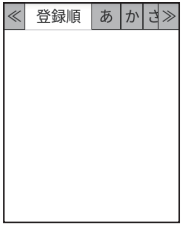
番号帳を利用する

「番号帳機能設定」（→P.72）を「利用する（編集可）」に設定している場合のみ、番号帳を登録／編集／削除できます。

番号帳に登録する

番号帳に登録できるデータは最大1,000件です。

1　待受画面で▼



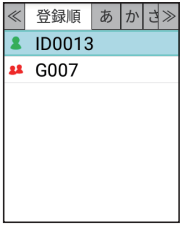
2　☰→「新規登録」

3　各項目を入力→「登録」

番号帳を確認／編集する

1　待受画面で▼

◀ ▶：タブを左右に移動します。
テンキー：該当のタブ（＊は英、＃は他）に移動します。



番号帳画面

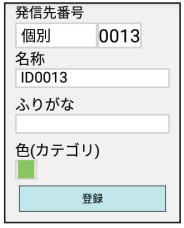
- 待受画面で☰→「番号帳」を選択しても、番号帳画面が表示されます。

2 確認／編集するデータを選択→[☰]→「表示」

3 [☰]→「編集」

編集画面が表示されます。各項目を編集後、「登録」を押すと、編集した内容で上書き登録されます。

4 「登録」



お知らせ

- 番号帳画面でデータを選択するか、番号帳詳細表示画面で[□](決定)を押すと、待受画面に選択したデータの呼出モード(通話モード)と番号、名称が表示され、PTTスイッチを押すと発信できます。ただし、不在着信がある場合は待受画面ではなく不在着信画面が表示されるため、本操作はできません。不在着信がある場合の番号帳からの発信は、「番号帳から呼び出す」(→P.46)をご覧ください。

番号帳画面で使用できる機能

番号帳画面で[☰]を押すと、次の機能を使用できます。

項目		説明
表示		「番号帳を確認／編集する」（→P.53）
新規登録 ※1		「番号帳に登録する」（→ P.53）
編集 ※1		「番号帳を確認／編集する」（→P.53）
メッセージ作成 ※2		選択した番号帳データの呼出モード（通話モード）が「個別」の場合、メッセージを作成します。
削除 ※1	1 件削除	番号帳データを 1 件削除します。
	選択削除	番号帳データを複数選択して削除します。
	全件削除	番号帳データを全件削除します。
ショートカット登録 ※3		選択した番号帳データをショートカットに登録します。
カテゴリ名称編集 ※4		番号帳のカテゴリの色と名称を編集します。

※1「番号帳機能設定」（→P.72）を「利用する（編集可）」に設定している場合のみ、操作できます。
※2「メッセージ送信設定」（→P.72）にチェックを入れている場合のみ、操作できます。
※3「ショートカット機能設定」（→P.72）を「利用する（編集可）」に設定している場合のみ、操作できます。
※4「カテゴリ名称機能設定」（→P.72）を「利用する（編集可）」に設定している場合のみ、操作できます。

ショートカットを利用する

通話相手や機能メニュー、設定項目をショートカットに登録することで、待受画面から簡単に呼び出すことができます。

- 「ショートカット機能設定」（→P.72）を「利用する（編集可）」に設定している場合のみ、ショートカットを登録／削除できます。

ショートカットを登録する

1　待受画面で□（決定）

ショートカット一覧画面

- 待受画面で［☰］→「ショートカット一覧」を選択しても、ショートカット一覧画面が表示されます。

2　［☰］→項目を選択

項目	説明
番号帳登録	ショートカットに登録する相手を番号帳から選択します。
発信先登録	ショートカットに登録する相手を入力します。
機能項目登録 ※1	ショートカットに登録する機能項目を選択します。
設定項目登録 ※1	ショートカットに登録する設定項目を選択します。

※1 設定画面と異なり番号が黄色・黒字で表示されます。

3　「発信先登録」選択時：各項目を入力→「登録」
他の項目を選択時：ショートカットに登録したい項目を選択

お知らせ

- 通話履歴からもショートカットを登録できます。（→P.48）

ショートカット一覧画面で使用できる機能

ショートカット一覧画面で[☰]を押すと、次の機能を使用できます。

項目		説明
番号帳登録		「ショートカット機能設定」（→P.72）
発信先登録		
機能項目登録		
設定項目登録		
削除	1 件削除	ショートカットを 1 件削除します。
	選択削除	ショートカットを複数選択して削除します。
	全件削除	ショートカットを全件削除します。

グループに登録する

グループの確認や登録については、「グループを管理する」（→P.76）をご覧ください。

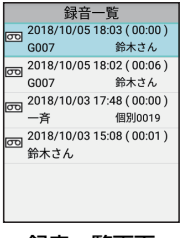
通話を録音する

着信応答した通話は、自動的に録音されます。本アプリに保存される録音データは、最大50件です。

- 録音されるのは、相手の音声のみです。「録音機能設定」（→P.72）を「利用しない」以外に設定している場合のみ、録音できます。

録音した通話を再生する

1　待受画面で[☰]→「録音再生」



録音一覧画面

2　再生する録音データを選択

3　決定を押して再生

□（決定）（⏸）：一時停止
◀（⏮）：4秒巻き戻し
▶（⏭）：4秒早送り

録音一覧画面で使用できる機能

録音一覧画面で☰を押すと、次の機能を使用できます。

項目		説明
保護	1 件保護／保護解除	録音データを 1 件保護／保護解除します。
	選択保護	録音データを複数選択して保護します。
削除 ※1	1 件削除	録音データを 1 件削除します。
	選択削除	録音データを複数選択して削除します。
	全件削除	録音データを全件削除します。

※1「録音機能設定」（→P.72）を「利用する（データ削除可）」に設定している場合のみ、操作できます。なお、一度削除された録音データは元に戻すことはできません。

非常送信機能（RED ALERT)を使用する

非常時、サーバーに通知を行うことができます。
通知を行った場合、位置情報サービスにて指令局または指定した移動局で本端末の音声のモニタリングができるようになります。本アプリはRED ALERTを解除するまで待受以外の画面を表示できず、他の機能を使用できません。また、音声のモニタリング中も同様です。

- RED ALERT機能を利用するには、「RED ALERT機能設定」（→P.72）の「RED ALERT利用設定」にチェックを入れる必要があります。

RED ALERTを起動する

1　非常スイッチを長押し

通知バーに★が表示されます。また、通話状態表示部にも「★」が表示されます。

お知らせ

- ロック画面表示中でもRED ALERTを起動できます。
- 音声をモニタリングされている端末で C を押すか、5分を経過すると音声のモニタリングは終了します。また、「終話設定」（→P.70）を「発信側、着信側から終話可能」に設定しているとモニタリングを行っている側で終了操作ができます。

RED ALERTを解除する

1　RED ALERT中に非常スイッチを長押し

RED ALERTが解除され、通知バーの✪、通話状態表示部の「★」が表示されなくなります。

- 「RED ALERTのロック設定」（→P.75）を「パスコード」または「パスワード」に設定している場合、非常スイッチを長押し→パスコードまたはパスワードを入力→「OK」を選択します。パスコード、パスワードを忘れた場合は、RED ALERTを解除できず本アプリが使用できなくなるため、忘れないようにしてください。忘れた場合には本アプリを初期化する必要がありますので販売代理店へお問い合わせください。

お知らせ

- 非常時以外の場合は、必ず解除操作を行ってください。
- 「RED ALERTのロック設定」（→P.75）を「なし」に設定している場合は、電源を切ってもRED ALERTを解除できます。
- ロック画面表示中でもRED ALERTを解除できます。ただし、パスコードまたはパスワードを設定している場合は、画面ロック解除後にRED ALERTを解除してください。
- 指令局はRED ALERTを使用できません。

状態表示機能を使用する

位置情報サービスに状態を通知することができます。待受画面には、本端末のユーザーの現在の状態を表示する状態表示部（❶）があります。
状態表示部の状態は変更できます。状態が変更されるたびにサーバーに通知されます。

- サーバーに通知された状態を確認するには、オプションサービスに加入する必要があります。

状態表示を変更する

1　待受画面で▲

- 待受画面で☰→「状態変更」を選択しても、状態表示変更画面が表示されます。

2　状態を選択

位置情報機能を使用する

GPS機能を使用して現在地を測位できます。また、一定時間が経過するたびに、または一定距離を移動するたびに、取得した位置情報をサーバーに通知できます。

- サーバーに通知された位置情報を確認するには、オプションサービスに加入する必要があります。
- ビルの谷間や山間部、屋内などGPS衛星からの電波を受信しにくい場所では、測位に数分かかるか、測位ができないことがあります。
- 指令局は位置情報機能を利用できません。
- 位置情報機能の設定については、「位置情報機能を設定する」（→P.71）をご覧ください。

メッセージ機能を使用する

メッセージ機能を利用する前に、「機能設定」の「メッセージ機能設定」（→P.72）でメッセージに関する設定を行ってください。

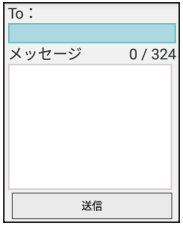
お知らせ

- 指令局ではメッセージを送受信できません。

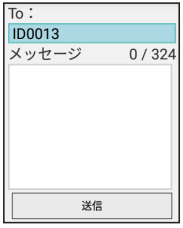
メッセージを新規作成／送信する

個別番号を送信先として全角162文字（半角324文字）までのメッセージを送信できます。

1　待受画面で［☰］→「メッセージ作成」



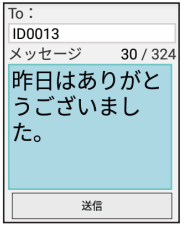
2　To欄を選択→「番号帳」→送信する相手を選択



■ 個別番号を入力する場合

To欄を選択→「個別番号入力」→番号入力欄を選択→相手の番号を入力→「登録」

3　メッセージ欄を選択→本文を入力→［⮌］



- 一部の記号など、メッセージの本文に使用できない文字を入力した場合は、通知画面が表示され、入力を中止します。「OK」を選択することで入力画面に戻ります。
- メッセージ欄を選択した状態で［◻］（決定）を押すと改行することができます。
- メッセージ本文入力中に、本文の先頭で［▲］、最後で［▼］を押すことでも本文入力が終了し、番号入力欄や、送信ボタンを選択することができます。

4　「送信」

メッセージが送信されます。

お知らせ

- 30秒以内に同じ内容のメッセージを連続して送信すると、1件目のメッセージしか送信されない場合があります。
- 通話履歴や番号帳からもメッセージを作成できます。（→P.48、P.55）

メッセージ作成画面で使用できる機能

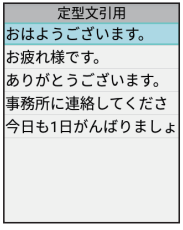
メッセージ作成画面で[☰]を押すと、次の機能を使用できます。

項目	説明
送信先（番号帳）	送信する相手を番号帳から選択します。
送信先（個別番号入力）	送信する相手の個別番号を入力します。
定型文引用	「定型文を利用する」（→ P.63）
送信	メッセージを送信します。

定型文を利用する

本文に定型文を入力します。定型文は冒頭に入力されます。

1　メッセージ作成画面で[☰]→「定型文引用」→定型文を選択

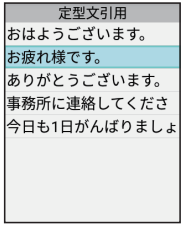


定型文引用画面

定型文を編集する

定型文を編集するには、「定型文編集機能設定」（→ P.72）にチェックを入れる必要があります。

1　メッセージ作成画面で[☰]→「定型文引用」→編集する定型文を選択



2　[☰]→「編集」→定型文編集欄を選択→定型文を編集→[↩]→「登録」

■ 定型文を追加する場合

[☰]→「新規」→定型文編集欄を選択→定型文を入力→[↩]→「登録」

定型文引用画面で使用できる機能

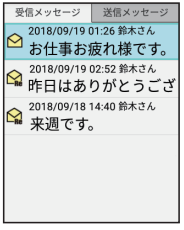
定型文引用画面で[☰]を押すと、次の機能を使用できます。

項目		説明
新規		定型文を追加します。
編集		定型文を編集します。
削除	1 件削除	定型文を 1 件削除します。
	全件削除	定型文を全件削除します。
上に移動		定型文を上に移動します。
下に移動		定型文を下に移動します。

受信したメッセージを確認する

メッセージを受信すると、通知バーに✉が表示され、通知音が鳴ります。バックライト消灯時は、LEDが黄点滅します。

1　待受画面で[☰]→「送受信メッセージ」



受信メッセージ一覧画面

2　メッセージを選択

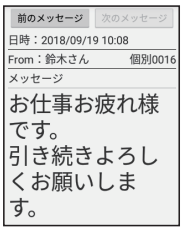
メッセージ詳細表示画面

お知らせ

- 受信メッセージ一覧画面のすべての未読メッセージを確認するか削除すると、通知バーから が消えます。
- 不在着信の通知音が鳴っているときにメッセージを受信した場合は、メッセージ受信の通知音は鳴りません。
- メッセージ受信の通知音は、本アプリが表示されているときに、[⏻]、[☎]、[⠿]以外のいずれかのキーを押すと止めることができます。また、スリープモードや画面ロック中は、ロックを解除してから本アプリを表示して同様の操作をおこない止めることができます。

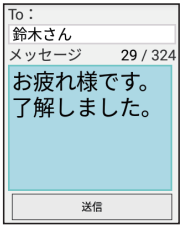
メッセージを返信／転送する

1　待受画面で[☰]→「送受信メッセージ」→メッセージを選択



メッセージの内容が表示されます。

2　[☰]→「返信」または「転送」→メッセージを作成



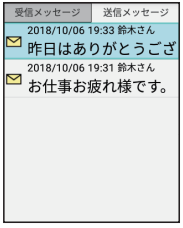
3　「送信」

お知らせ

- 位置情報サービスからのメッセージには返信できません。

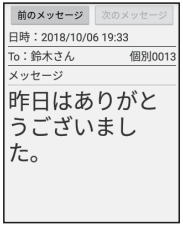
送信したメッセージを確認する

1　待受画面で☰→「送受信メッセージ」



送信メッセージ一覧画面

2　メッセージを選択

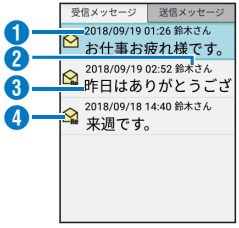


メッセージ詳細表示画面

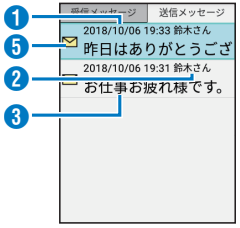
メッセージ一覧画面について

本アプリで保存される受信メッセージ／送信メッセージは、それぞれ最大500件です。

- 最大件数保存されているときに、メッセージを受信／送信すると、未開封のものも含め古いもの(保護したメッセージを除く)から削除されます。



受信メッセージ一覧画面



送信メッセージ一覧画面

	項目	説明
❶	受信日時／送信日時	受信日時／送信日時が表示されます。
❷	送信元／送信先	個別番号が表示されます。 番号帳に登録されている場合は、登録されている名称が表示されます。 名称が長い場合は省略文字 (…) で表示されます。
❸	本文	本文が表示されます。

	項目	説明
❹	受信アイコン	✉：未読メッセージ ✉：既読メッセージ ✉：返信したメッセージ ✉：転送したメッセージ 保護したメッセージは、アイコンに🔒が付きます。
❺	送信アイコン	保護したメッセージは、アイコンに🔒が付きます。 送信に失敗したメッセージは、アイコンに✕が付きます。

メッセージ一覧画面で使用できる機能

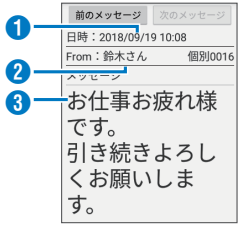
メッセージ一覧画面で［☰］を押すと、次の機能を使用できます。

項目		説明
新規作成		メッセージを作成します。
返信 ※1		「メッセージを返信／転送する」（→ P.65）
転送 ※1		「メッセージを返信／転送する」（→ P.65）
再編集 ※2		メッセージを編集します。
保護	1 件保護／保護解除	メッセージを 1 件保護／保護解除します。
	選択保護	メッセージを複数選択して保護します。
削除 ※3	1 件削除	メッセージを 1 件削除します。
	選択削除	メッセージを複数選択して削除します。
	全件削除	メッセージを全件削除します。

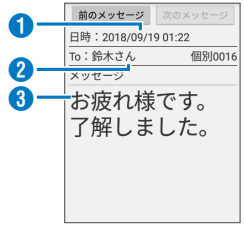
※1 受信メッセージ一覧画面でのみ表示されます。
※2 送信メッセージ一覧画面でのみ表示されます。
※3「メッセージ削除機能設定」（→P.72）にチェックを入れている場合のみ、操作できます。なお、一度削除されたメッセージは元に戻すことはできません。

メッセージ詳細表示画面について

1　受信メッセージ一覧画面または送信メッセージ一覧画面でメッセージを選択



受信メッセージ詳細表示画面



送信メッセージ詳細表示画面

	項目	説明
❶	受信日時／送信日時	受信日時／送信日時が表示されます。
❷	送信元／送信先	個別番号が表示されます。 番号帳に登録されている場合は、登録されている名称と個別番号が表示されます。 名称が長い場合は省略文字（…）で表示されます。
❸	本文	本文が表示されます。

メッセージ詳細表示画面で使用できる機能

メッセージ詳細表示画面で［☰］を押すと、次の機能を使用できます。

項目	説明
返信 ※1	「メッセージを返信／転送する」（→P.65）
転送 ※1	「メッセージを返信／転送する」（→P.65）
再編集 ※2	メッセージを編集します。
保護／保護解除	メッセージを保護／保護解除します。
削除 ※3	メッセージを削除します。

※1 受信メッセージ詳細表示画面でのみ表示されます。
※2 送信メッセージ詳細表示画面でのみ表示されます。
※3「メッセージ削除機能設定」（→P.72）にチェックを入れている場合のみ、操作できます。なお、一度削除されたメッセージは元に戻すことはできません。

IP無線の設定をする

IP無線設定について

本アプリの各機能を設定します。

1　待受画面で[☰]を長押し

- 待受画面で[☰]→「設定」を選択しても、設定画面が表示されます。

2　次の各項目を設定

項目	説明
接続設定	「接続設定をする」（→ P.69）
機能設定	「機能設定をする」（→ P.72）
アプリ設定	「アプリ設定をする」（→ P.75）
グループ管理	「グループを管理する」（→ P.76）
設定情報管理	「設定情報を管理する」（→ P.79）
アプリ情報	「アプリ情報」（→ P.81）

お知らせ

- 販売代理店での設定により、項目が非表示またはグレー表示され選択できない場合があります。

各設定、管理画面で使用できる機能

各設定、管理画面で[☰]を押すと、次の機能を利用できます。

項目	説明
ショートカット登録 ※1	選択した項目をショートカットに登録します。

※1「ショートカット機能設定」（→P.72）を「利用する（編集可）」に設定している場合のみ、操作できます。

接続設定をする

不在着信時の通知や位置情報機能、RBT機能などを設定します。

1　待受画面で[☰]を長押し→「接続設定」

接続設定画面が表示されます。

2　次の各項目を設定

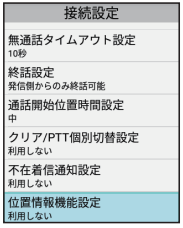
項目	説明	
無線機情報（接続設定）	本端末の個別番号や通信 ID、通信パスワードなど、通信に必要な情報を確認します。	
無通話タイムアウト	無通話状態が続いた場合、自動的に通話を切断するまでの時間を設定します。	
終話設定	発信者からのみ通話を終了できるか、発信者・着信者のどちらからも通話を終了できるかを設定します。	
通話開始位置時間設定	通話開始位置時間を設定します。「小」に設定すると、通話開始までの時間は短くなりますが、音質は劣ります。「大」に設定すると、通話開始までの時間は長くなりますが、音質は良くなります。	
クリア／ PTT 個別切替設定	C または PTT スイッチを押すことで、個別通話に切り替えるかどうかを設定します。	
不在着信通知設定	不在着信利用設定	不在着信があったときに、LED と通知音でのお知らせの有無を設定します。
	鳴動時間設定	不在着信を通知する時間を設定します。
位置情報機能設定	「位置情報機能を設定する」（→ P.71）	

項目	説明	
RBT 機能設定	RBT 利用設定	発信時、RBT 機能の利用について設定します。確実に通話を伝えるためにこの機能を利用します。RBT 機能を利用して発信すると、着信者側が応答操作を行うことで通話できます。RBT 機能を利用しないで発信した場合、着信者側の IP 無線機は自動応答します。
	RBT 常時利用設定	「RBT 利用設定」を「常時利用」に設定している場合、RBT 機能を利用する呼出モード（通話モード）を選択します。
通話離脱設定	「一斉呼出」「強制一斉呼出」「グループ呼出」「強制グループ呼出」での通話時に、その通話から抜けることができるかどうかを設定します。	

位置情報機能を設定する

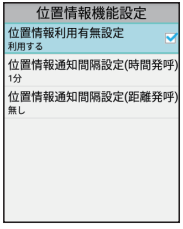
位置情報機能を設定すると、GPS機能を使用して現在地を測位できます。（→P.61）

1　接続設定画面で「位置情報機能設定」

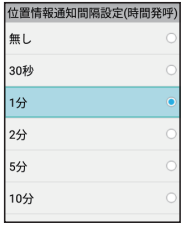


位置情報機能設定画面が表示されます。

2「位置情報利用有無設定」にチェックを入れる



3「位置情報通知間隔設定（時間発呼）」→位置情報を通知する時間間隔を選択



4「位置情報通知間隔設定（距離発呼）」→位置情報を通知する移動距離を選択

お知らせ

- 「位置情報通知間隔設定（時間発呼）」で設定した時間毎に、位置情報サービスに位置情報が通知されます。
- 「位置情報通知間隔設定（距離発呼）」で設定した距離毎に、位置情報サービスに位置情報が通知されます。
- 両方設定した場合は、時間経過又は移動距離のどちらかが設定値を満たした時点で位置情報サービスに位置情報が通知されます。
- 位置情報が通知された時点で、経過時間や移動距離はリセットされ、その時点から時間と距離が測定されます。

機能設定をする

待受画面に表示する情報や、メッセージ機能、RED ALERT機能などを設定します。

1　待受画面で［☰］を長押し→「機能設定」

機能設定画面が表示されます。

2　次の各項目を設定

項目	説明
待受表示設定	「待受画面に表示する情報を設定する」（→ P.73）
デフォルト呼出表示設定	「デフォルト呼出表示を設定する」（→ P.73）
番号帳機能設定	番号帳を編集・削除できるようにするかどうかを設定します。
カテゴリ名称機能設定	番号帳のカテゴリ色と名称を編集できるようにするかどうかを設定します。
呼出モード設定	「呼出モード（通話モード）を設定する」（→ P.74）
メッセージ機能設定	メッセージ送信設定：メッセージを送信できるようにするかどうかを設定します。
	定型文編集機能設定：定型文を編集・削除できるようにするかどうかを設定します。
	メッセージ削除機能設定：送受信したメッセージを削除できるようにするかどうかを設定します。
	フォントサイズ：メッセージ作成時の本文入力画面やメッセージ詳細表示画面の文字サイズを設定します。
録音機能設定	録音機能を利用するかどうか、録音データを削除できるようにするかどうかを設定します。
ショートカット機能設定	ショートカットを編集・削除できるようにするかどうかを設定します。
RED ALERT機能設定	「RED ALERT を設定する」（→ P.74）
発着信履歴 削除機能設定	通話履歴を削除できるようにするかどうかを設定します。

待受画面に表示する情報を設定する

1　機能設定画面で「待受表示設定」

2　待受画面に表示する情報を選択

「最終通話」：最後に発信／着信した相手の情報
「発信履歴」：最後に発信した相手の情報
「着信履歴」：最後に着信した相手の情報
「デフォルト」：「デフォルト呼出表示設定」で設定した情報

デフォルト呼出表示を設定する

1　機能設定画面で「デフォルト呼出表示設定」

2　呼出モード（通話モード）欄を選択→呼出モード（通話モード）を選択

- 「一斉」「強制一斉」「近隣」を選択した場合は、手順4に進みます。

3　番号入力欄を選択→相手の番号を入力

- 入力した呼出モード（通話モード）と番号が番号帳に登録されている場合は、登録されている名称が表示されます。

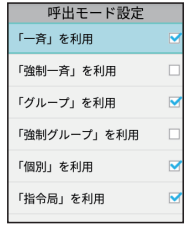
4　「登録」

呼出モード（通話モード）を設定する

本アプリで利用する呼出モード（通話モード）を設定します。

- 呼出モード（通話モード）の種類については、「呼び出して通話する」（→P.42）をご覧ください。

1　機能設定画面で「呼出モード設定」



2　利用する呼出モード（通話モード）にチェックを入れる

お知らせ

- 選択していない呼出モード（通話モード）は、待受画面で［⮌］を押したときに表示されません。

RED ALERTを設定する

非常時、サーバーに通知を行う非常送信機能（RED ALERT）を使用するかどうかを設定します。
RED ALERTを解除するときに、パスコードまたはパスワードを入力するように設定することもできます。

1　機能設定画面で「RED ALERT機能設定」

2　「RED ALERT利用設定」にチェックを入れる

3 「RED ALERTのロック設定」→「なし」、「パスコード」または「パスワード」を選択

- RED ALERTのロック解除時にパスコード等の入力を必要としない場合は「なし」を選択します。

4 パスコードまたはパスワードを入力

- 「パスコードを表示する」または「パスワードを表示する」にチェックを入れると、入力したパスコードまたはパスワードが表示されます。

■ パスコードを入力する場合

新しいパスコードを入力→「OK」→再度新しいパスコードを入力→「OK」

■ パスワードを入力する場合

新しいパスワードを入力→再度新しいパスワードを入力→「OK」

アプリ設定をする

画面表示やキー操作などを設定します。

1 待受画面で[☰]を長押し→「アプリ設定」

アプリ設定画面が表示されます。

2 次の各項目を設定

項目	説明	
バックグラウンド設定	PTT スイッチ設定	本アプリがバックグラウンドのとき、PTT スイッチを押した場合の動作を設定します。 「発信・発話」を選択すると、直前に表示していた発信先へ発信します。PTT スイッチを押し続けていると発話できます。 「アプリ画面表示」を選択すると、待受画面を表示します。再度、PTT スイッチを押すと発信できます。
バックグラウンド設定	終話時表示機能設定	本アプリがバックグラウンドのときに着信を受けた通話において、終話時に本アプリ画面を表示するかどうかを設定します。
通話時間表示設定	通話中画面に通話時間を表示するかどうかを設定します。	

項目	説明
各種キー利用設定 ※1※2※3	本アプリにおいて、キー操作を有効にするかどうかを設定します。 「操作制限　弱」を選択すると、「0」～「9」のキー操作が無効になります。 「操作制限　強」を選択すると、C、PTT スイッチ、＊絵文字、＃文字、、、、音量ボタン、非常スイッチ以外のキー操作が無効になります。 「本体 PTT スイッチ強制無効」「外部 PTT スイッチ強制無効」を選択すると本体の PTT スイッチ、または外部スピーカマイク（別売品）の PTT スイッチを無効にすることができます。本体と外部スピーカマイク（別売品）の両方の PTT スイッチを無効にすることもできます。※4
圏外時、切断 ON ／ OFF 設定	電波状態が悪くなったときに、通話を切断するタイミングを設定します。ただし、設定したタイミングで切断されない場合もあります。

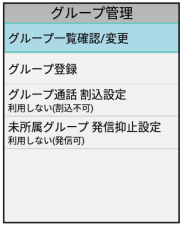
※1「操作制限　強」に設定しようとすると、確認画面が表示されます。内容確認後、設定する場合は「はい」を選択します。設定した場合には販売代理店しか解除ができません。
※2「操作制限　強」に設定している場合でも、音量の調整、不在着信の確認、RED ALERTの起動／解除ができます。
※3 本アプリでのみ有効な設定となります。
※4 本アプリが表示されているときのみ有効な設定となります。バックグラウンドのときは設定にかかわらず、本体と外部スピーカーマイク等のPTTスイッチが有効となります。

グループを管理する

本端末が登録されているグループを確認したり、本端末をグループに登録したりします。

1　待受画面で を長押し→「グループ管理」

グループ管理画面が表示されます。



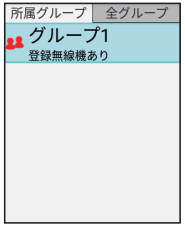
2　次の各項目を設定

項目	説明
グループ一覧確認／変更	グループを確認／変更します。 詳しくは「グループを確認する」（→P.77）をご覧ください。
グループ登録※1	グループを登録します。 詳しくは「グループに登録する」（→P.78）をご覧ください。
グループ通話割込設定※2	グループ登録時、登録グループの通話に途中参加できるようにするかどうかを設定します。 「利用する（割込可）」を設定した場合、グループ登録時、該当グループが通話している場合には途中参加することができます。※3
未所属グループ発信抑止設定※1	登録していないグループへ発信できるようにするかどうかを設定します。 ただし、「利用する（発信不可）」を設定した場合、以下操作にてグループの登録情報を最新にしてご利用ください。 •「グループを確認する」（→ P.77）の操作 •「グループに登録する」（→ P.78）の操作

※1 指令局では表示されません。
※2 指令局では設定できません。
※3 本端末でグループを変更した場合のみ設定が有効となります。

グループを確認する

1　グループ管理画面で「グループ一覧確認／変更」



- 「所属グループ」タブには、本端末が登録されているグループが表示されます。すべてのグループを確認するには、「全グループ」タブを選択します。

お知らせ

- 所属グループ一覧画面または全グループ一覧画面で［☰］→「グループ設定」→登録するグループを選択すると、本端末をグループに登録できます。ただし、ご契約時に「グループ設定」を「Web」に設定されている場合は、本操作はできません。
- グループ情報の取得に成功した場合、待受画面のグループ表示部「起動と待受画面」（→P.37）も更新されます。

グループに登録する

1　グループ管理画面で「グループ登録」

2　グループ番号を入力

- すでに番号が入力されている場合は、C を押して番号をリセットしてから入力します。
- グループ登録履歴が表示されている場合は、グループ登録履歴からグループを選択→「はい」を選択しても登録できます。

お知らせ

- ご契約時の「グループ設定」にかかわらず、本端末でグループ登録できます。ただし、複数のグループに登録されていた場合は、本端末で設定したグループのみの登録となり、他のグループからは解除されます。
- 登録したグループが通話中の場合、手順3で登録が成功したあとに通話に割り込むことができます。あらかじめ、「グループ通話割込設定」（→P.77）を「利用する（割込可）」に設定する必要があります。
- グループ登録が成功した場合、待受画面のグループ表示部「起動と待受画面」（→P.37）も更新されます。

グループ登録画面で使用できる機能

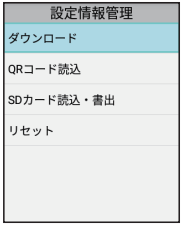
グループ登録画面で ☰ を押すと、次の機能を利用できます。

項目		説明
履歴削除	1 件削除	グループ登録履歴を 1 件削除します。
	全件削除	グループ登録履歴を全件削除します。
ショートカット登録 ※1	画面	表示しているグループ登録画面をショートカットに登録します。
	選択中グループ	選択したグループへの登録操作をショートカットに登録します。

※1「ショートカット機能設定」（→P.72）を「利用する（編集可）」に設定している場合のみ、操作できます。

設定情報を管理する

1　待受画面で［☰］を長押し→「設定情報管理」



設定情報管理画面が表示されます。

2　次の各項目を設定

項目	説明
ダウンロード※1	設定情報をダウンロード・設定します。
QR コード読込※1	QR コードを使用して設定情報をダウンロード・設定します。
SD カード読込・書出	「本アプリの設定内容を SD カードにバックアップ、SD カードから復元する」（→ P.79）
リセット	「リセットする」（→ P.80）

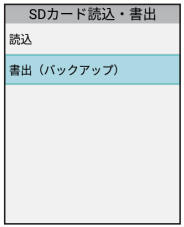
※1 詳細はお買い上げの販売代理店へお問い合わせください。

本アプリの設定内容をSDカードにバックアップ、SDカードから復元する

本アプリの設定内容と番号帳をSDカードを利用してバックアップしたり、復元したりします。

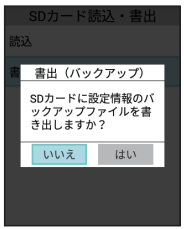
- 電池残量が少ないと、バックアップ・復元ができません。十分に充電したうえで操作してください。

1　設定情報管理画面で「SDカード読込・書出」



書出（バックアップ）の確認画面が表示されます。

2　「書出（バックアップ）」→「はい」→「OK」



バックアップファイルはSDカードの「/Android/data/jp.co.seiryodenki.ipradioappca/801kwdat」に書き出されます。

■ SDカードのバックアップファイルを本アプリに復元する場合

「読込」→「はい」→「OK」を選択します。

- 本端末が再起動されます。

! ご注意

- すでに SD カードにバックアップファイルがある場合は、書出を行うとファイルが上書きされます。
- バックアップファイルのファイル名は「Setting.dat」と「Address.dat」です。ファイル名を変更すると復元できません。
- 通話履歴、録音データ、メッセージは SD カードに書き出されません。本機能で書き出し、復元可能な内容は本アプリの設定内容のみとなります。端末の設定内容は含まれませんのでご注意ください。

お知らせ

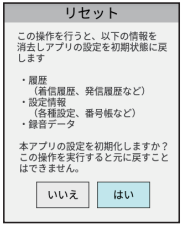
- バックアップファイルから設定を復元すると、本アプリの設定内容と番号帳はそれぞれバックアップファイルの内容に変更されます。SDカードにあるバックアップファイルがどちらか一方だけの場合は、バックアップがあるものだけ変更されます。
- バックアップファイルから設定を復元後、通話状態表示部が接続完了とならない場合は、本端末を再起動するか、設定を確認してください。

リセットする

通話履歴や設定情報、録音データなどを消去し、本アプリを初期状態に戻します。

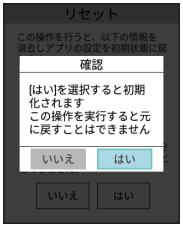
- ご契約時に販売代理店で設定した内容もすべて消去され、本アプリやその他のアプリの通信機能が使用できなくなります。ご契約時の状態に戻す場合は、販売代理店にお問い合わせください。
- あらかじめ本アプリの設定内容をSDカードにバックアップしている場合、リセット後にバックアップファイルから設定を復元することができます。ただし、通話履歴、録音データ、メッセージは復元できません。
- ご契約時の状態から設定内容や番号帳を変更した場合には、変更した時点のバックアップファイルがないと復元できません。
- 電池残量が少ないと、リセットができません。十分に充電したうえで操作してください。

1　設定情報管理画面で「リセット」



確認画面が表示されます。

2　「はい」→「はい」



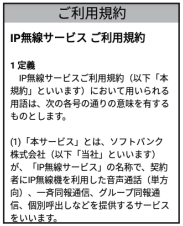
本端末が再起動されます。

- 本アプリのデータがすべて消去され、設定内容が初期状態に戻ります。
- 本アプリ以外のデータは消去されません。

ご利用規約

IP無線サービスのご利用規約を確認できます。

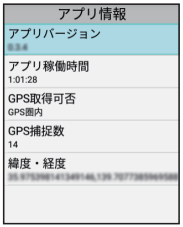
1　待受画面で［☰］を長押し→「ご利用規約」



アプリ情報

本アプリの情報や、GPSによる緯度・経度情報などが確認できます。

1　待受画面で［☰］を長押し→「アプリ情報」



IP無線をアップデートする

本アプリを最新の状態にアップデートできます。

1 (Scout)

セットアップ画面が表示されます。

2 「アプリアップデータ」

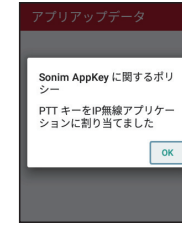
アプリアップデータ画面が表示されます。

3 「アップデートを確認」→「OK」

アップデートが必要かどうかの確認が行われます。

- 本アプリが最新版でアップデートの必要がない場合→「OK」
- アップデートの必要がある場合は、データのダウンロードが開始されます。ダウンロードが完了すると確認画面が表示されます。次の手順に進んでください。

4 「OK」

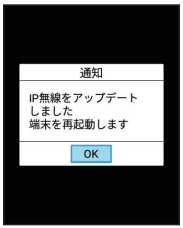


確認画面が表示されます。

5 「OK」

アップデータが完了すると、本端末の再起動を要求する画面が表示されます。

6 「OK」



本端末が再起動されます。

5　アプリの基本

アプリについて.....86

アプリについて

アプリを起動する

1 [⠿]

ホーム画面が表示されます。

2 起動するアプリを選択

アプリが起動します。

お知らせ

アプリの利用に必要な権限について

- 一部のアプリを利用するには、本端末内のデータへのアクセスなど、重要な機能へのアクセス権限を許可する必要があります。
- 許可が必要なアプリは、起動時に確認画面が表示され、画面の指示に従って操作することでアプリを使用できます。
- 詳しくは、「アプリの確認」（→P.127）をご覧ください。

アプリを切り替える

1 [⠿]**をすばやく2回押す**

アプリの履歴が表示されます。

2 使用したいアプリを選択

選択したアプリが表示されます。

アプリ一覧

アイコン	機能・サービス
(IP 無線)	あらかじめグループとして設定されている他の IP 無線機と、一斉通話やグループ通話、個別通話、メッセージの送受信などが利用できます。
(Scout)	アプリのアップデートを行います。(→ P.82)
(緊急速報)	気象庁が配信する「緊急地震速報」「津波警報」および「特別警報」、国・地方公共団体が配信する「災害・避難情報」などを受信することができます。
(時計)	アラームやストップウォッチ、タイマーを利用できます。
(カレンダー)	予定を登録して管理できます。
(設定)	本端末の各種設定ができます。

6　便利な機能

緊急速報メールを利用する……90
ライトを点灯する……91
カレンダーを利用する……91
時計／アラームを利用する……95

緊急速報メールを利用する

気象庁が配信する緊急地震速報・津波警報および特別警報、国や地方公共団体からの災害・避難情報を本端末で受信して、警告音とメッセージでお知らせします。

! ご注意

受信について

- お客様のご利用環境・状況によっては、お客様の現在地と異なるエリアに関する情報が受信される場合、または受信できない場合があります。また、当社は情報の内容、受信タイミング、情報を受信または受信できなかったことに起因した事故を含め、本サービスに関連して発生した損害については、一切責任を負いません。

待受時間について

- 緊急速報メールを有効にしている場合、待受時間が短くなることがあります。

RBT着信時の動作について

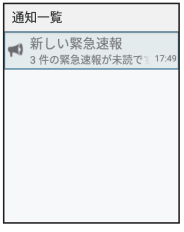
- 緊急速報メール受信時に RBT 機能を利用した着信があった場合、IP 無線の画面が緊急速報の表示ダイアログより前面に表示されます。

緊急速報メールを受信すると

緊急地震速報・津波警報および特別警報、国や地方公共団体からの災害・避難情報を、個別の警告音とメッセージでお知らせします。

- 電波状態が悪いときは受信できません。
- 受信時には、マナーモード設定中でも警告音が鳴動します。

1　ホーム画面で 🔔



通知一覧画面が表示されます。

2　緊急速報メールの通知を選択

受信した緊急速報メールが表示されます。

以前に受信した緊急速報メールを確認する

1 （緊急速報）

緊急速報画面が表示されます。

2 確認する緊急速報メールを選択

緊急速報メールが表示されます。

■ 緊急速報メールの設定を変更する

緊急速報画面で［☰］→「設定」→緊急速報の設定画面で通知内容と通知方法の設定ができます。

- 通知を有効にする
  緊急速報の内容を表示するかどうかを設定できます。
- アラート通知音
  緊急速報時にアラートを鳴らすかどうかを設定できます。
- バイブレーション
  緊急速報時にバイブレータを動作させるかどうかを設定できます。
- 警報メッセージを読み上げる
  緊急速報時に警報メッセージを読み上げるかどうかを設定できます。

ライトを点灯する

［⁘］を長押しするとライトが点灯します。

カレンダーを利用する

カレンダーを利用してスケジュール管理ができます。

カレンダー利用時の操作

1 今日のカレンダーを表示する

カレンダー画面で［☰］→「今日」

2 次／前の月を表示する

カレンダー画面で［▼］（次）／［▲］（前）を押す

カレンダーに予定を登録する

1 （カレンダー）

カレンダー画面が表示されます。

お知らせ

- 前回カレンダーを使用したときに、予定リストまたは予定詳細画面で終了した場合は、予定リストが表示されます。この場合は、[☰]→「月」→「決定」を押すとカレンダー画面が表示されます。

2 予定を登録する日を選択→[☰]→「予定を作成」

予定登録画面が表示されます。

3 タイトル／開始日時／終了日時などを入力→[☰]→「完了」

予定が登録されます。

予定を確認する

1 （カレンダー）

カレンダー画面が表示されます。

2 予定を確認する日を選択

予定リストが表示されます。

- カレンダー画面で［☰］→「予定リスト」を選択しても、予定リストを表示できます。

3 予定を選択

選択した予定の詳細が表示されます（予定詳細画面）。

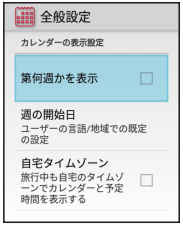
- 予定詳細画面で「通知を追加」を選択すると、通知する時間を追加できます。
- 予定詳細画面で［☰］→「編集」で予定を編集できます。
- 予定詳細画面で［☰］→「削除」で予定を削除できます。

■ 予定確認時の操作

- 予定を検索する
  カレンダー画面で［☰］→「検索」→検索する文字列を入力
- 予定を削除する
  カレンダー画面で［☰］→「予定の削除」→削除する予定を選択→［☰］→「実行」→「OK」
  （「予定の削除」画面で、［☰］→「全てを選択」を選択するとすべての予定が選択されます。）
  削除したデータは元に戻せません。

カレンダーの設定を変更する

1　カレンダー画面で[☰]→「設定」→「全般設定」



全般設定画面が表示されます。

2　次の各項目を設定

項目	説明
第何週かを表示	カレンダー画面で年の第何週かを表示するかどうかを設定します。
週の開始日	カレンダー画面で表示する週の開始曜日を設定します。
自宅タイムゾーン	自宅のタイムゾーンを設定します。
検索履歴を消去	検索履歴を消去します。
通知	通知の有効／無効を設定します。通知が有効な場合、通知音声とバイブレーションの有効／無効を設定します。
既定の通知時間	既定のリマインダ通知時間を設定します。

時計／アラームを利用する

アラームや世界時計、タイマー、ストップウォッチを利用できます。

アラームを設定する

1 （時計）

時計が表示されます。

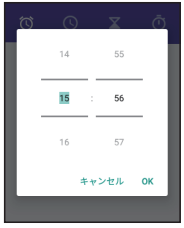
2 （アラーム）を選択

アラーム画面が表示されます。

3 → 「追加」

時刻の設定画面が表示されます。

4 時刻を設定→「OK」



アラームが設定され、詳細設定画面が表示されます。

5　次の各項目を設定

項目	説明
繰り返し	アラームの設定を適用する曜日を設定します。
アラーム音	アラーム音を設定します。
ラベル	アラームの名前を設定します。
バイブレーション	バイブレーションの有効／無効を設定します。

■ **アラーム通知時の動作**

アラーム設定時刻になるとアラーム音や振動でお知らせします。

アラームの設定を変更する

1　（時計）

時計が表示されます。

2　（アラーム）を選択

アラーム画面が表示されます。

3　→「編集」

アラームの編集画面が表示されます。

4　次の各項目を設定

項目	説明
時刻	アラームを鳴らす時刻を設定します。
繰り返し	アラームの設定を適用する曜日を設定します。
アラーム音	アラーム音を設定します。
ラベル	アラームの名前を設定します。
バイブレーション	バイブレーションの有効／無効を設定します。

アラームの設定変更が完了します。

スヌーズの長さを変更する

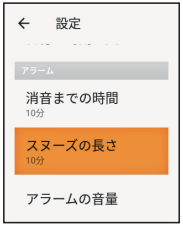
1 （時計）

時計が表示されます。

2 → 「設定」

設定画面が表示されます。

3 「スヌーズの長さ」



4 時間を選択→「OK」

スヌーズの長さの変更が完了します。

アラームの音量を変更する

1 （時計）

時計が表示されます。

2 → 「設定」

設定画面が表示されます。

3 「アラームの音量」

4 ◀ ▶でアラームの音量バーを操作

アラームの音量の変更が完了します。

アラームを止める

1 アラーム通知の画面で ▶

アラームが止まります。

- ◀を押すとスヌーズになります。

アラームを取り消す

1 （時計）

時計が表示されます。

2 （アラーム）を選択

アラーム画面が表示されます。

3　取り消したいアラーム設定を選択→（取り消し）

アラームが取り消しされます。

■ **アラーム設定を削除する**

アラーム画面で削除したいアラーム設定を選択→［☰］→「削除」→「OK」

世界時計を利用する

時計画面に世界時計を表示できます。

1　（時計）

時計が表示されます。

2　［☰］→「都市の追加」

都市の選択画面が表示されます。

3　追加する都市を選択→［⮌］

都市が追加されます。

- に都市名を入力して検索できます。

タイマーを利用する

1 （時計）

時計が表示されます。

2 （タイマー）を選択

タイマー画面が表示されます。

3 テンキーで時間を入力→「開始」

カウントダウンが始まります。

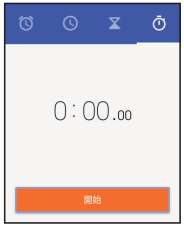
- 時間は秒、分、時の順に入力できます。入力した時間を削除するには C を押します。
- 設定時間を経過すると、タイマー音でお知らせします。カウントダウンを停止するときは「一時停止」、タイマー音を停止するときは「停止」を押します。
- タイマー停止後に「再開」を押すとカントダウンを再開します。「リセット」を押すとカウントダウンした時間をリセットします。

ストップウォッチを利用する

1 （時計）

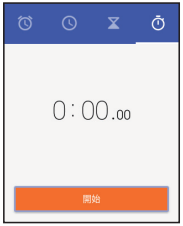
時計が表示されます。

2 （ストップウォッチ）を選択



ストップウォッチ画面が表示されます。

3 「開始」



計測が始まります。

4 「一時停止」

計測時間が表示されます。

- 計測中に「ラップ」を押すと、ラップタイムを計測できます。
- 計測終了後に「リセット」を押すと、計測時間をリセットできます。

7 Bluetooth

Bluetooth®機能を利用する..... 104

Bluetooth®機能を利用する

Bluetooth®対応の携帯電話などと接続して通信を行ったり、ヘッドセットなどの機器と接続して利用できます。

Bluetooth®機能でできること

Bluetooth®機能は、パソコンなどのBluetooth®機器とワイヤレス接続できる技術です。次のようなことができます。

機能	説明
オーディオ出力	IP 無線を使った通話音声を聴くことができます。

- IP無線の各種音声や通知音再生においてBluetooth®機能を利用できます。IP無線で利用しているときは、通知音が鳴らなかったり、非常に小さく聞こえたりする場合があります。

Bluetooth®機能を有効にする

1 ⚙（設定）→「Bluetooth」

Bluetooth®画面が表示されます。

2 □（決定）

Bluetooth®機能がONになり、使用可能なBluetooth®機器が検索されます。

■ Bluetooth®機能が有効時の操作

- 他の機器を検索する
  Bluetooth®画面で[☰]→「更新」
  「Bluetooth」がONのときに利用できます。
- 他の機器で表示される本端末の名前を変更する
  Bluetooth®画面で[☰]→「この端末の名前を変更」→名前を入力→「名前を変更」
  「Bluetooth」がONのときに利用できます。

! ご注意

- 本端末は、すべての Bluetooth® 機器とのワイヤレス接続を保証するものではありません。また、ワイヤレス通話のとき、状況によっては雑音が入ることがあります。
- 送受信したデータの内容によっては、互いの機器で正しく表示されないことがあります。

Bluetooth®機器をペア設定する

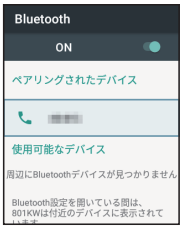
近くにあるBluetooth®機器を検索し、本端末にペア設定します。ペア設定したBluetooth®機器には簡単な操作で接続できます。

- あらかじめ、ペア設定するBluetooth®機器のBluetooth®機能を有効にしておいてください。

1 ⚙（設定）→「Bluetooth」

Bluetooth画面が表示されます。

2 使用可能なデバイスを選択→画面の指示に従って機器を認証



Bluetooth®機器が本端末に登録されます。

- 「使用可能なデバイス」欄に、近くにあるBluetooth®機器が表示されます。
- 目的の機器が見つからないときは、[☰]→「更新」をタップし、再検索を行ってください。
- ペア設定する機器によって、認証方法が異なります。

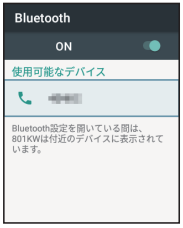
ペア設定済みのBluetooth®機器と接続する

1 ⚙（設定）→「Bluetooth」

Bluetooth画面が表示されます。

- 「ペアリングされたデバイス」欄に、ペア設定済みのBluetooth®機器が表示されます。

2 機器を選択



ペアリングされたデバイス画面が表示されます。

■ ペア設定済みのBluetooth®機器利用時の操作

- ペア設定した機器の名前を変更する
  ペアリングされたデバイス画面で名前を入力→「OK」
  「Bluetooth」がONのときに利用できます。
- ペア設定を解除する
  ペアリングされたデバイス画面で「削除」
  「Bluetooth」がONのときに設定できます。
- ペア設定した機器のサービスを利用するかどうかを設定する
  ペアリングされたデバイス画面での「使用目的」欄の項目を選択
  確認画面が表示されたときは、画面の指示に従って操作してください。

  「Bluetooth」がONのときに利用できます。
  各サービスに対応している機器とペア設定したときに利用できます。

8　端末設定

端末設定について 108
Bluetooth®設定 109
データ使用量の設定 109
もっと見る 115
ディスプレイ設定 116
音の設定 118
ストレージの設定 124
電池の設定 125
アプリの確認 127
メモリの確認 127
位置情報の設定 128
セキュリティの設定 129
言語と入力設定 132
リセット 133
日付と時刻の設定 134
ユーザー補助の設定 136
端末情報 137

端末設定について

（設定）を選択すると、本端末の各機能のはたらきをカスタマイズできます。
端末設定には次の項目があります。

項目	説明
Bluetooth	Bluetooth® 接続の利用を設定できます。
データ使用量	モバイルデータ通信の使用量を確認したり、使用を制限することができます。
もっと見る	無線とネットワークに関するその他の機能のはたらきを設定できます。
ディスプレイ	画面の明るさや点灯時間などが設定できます。
音	通知音、操作音など、音に関する設定ができます。
アプリ	アプリを確認できます。
ストレージ	本体や SD カードのストレージ容量の確認ができます。
電池	電池の使用状況を確認できます。
メモリ	メモリの使用状況を確認できます。
位置情報	位置情報の利用を設定できます。
セキュリティ	画面ロックや、端末の暗号化などに関する設定ができます。
言語と入力	表示言語や文字入力に関する機能を設定できます。
データの初期化	本端末のデータを消去できます。
日付と時刻	日付や時刻に関する機能を設定できます。
ユーザー補助	字幕、拡大操作などに関する機能を設定できます。
端末情報	本端末の状態を確認できます。

1 ⚙（設定）

端末設定画面が表示されます。

2 各項目を設定

設定が完了します。

Bluetooth®設定

Bluetooth®の設定については、「Bluetooth®機能を利用する」（→P.104）をご覧ください。

データ使用量の設定

モバイルデータ通信の使用量を確認したり、使用を制限することができます。

1 ⚙（設定）→「データ使用量」

データ使用量画面が表示されます。

2 各項目を設定

設定が完了します。

データ使用量利用時の操作

■ データセーバー機能を設定する

データ使用量画面で「データセーバー」

- （決定）を押すたびに、ON（　）／OFF（　）が切り替わります。

■ データセーバー機能の対象外とする機能を設定する

データセーバー画面で「データへの無制限アクセス」→対象外としたい機能を選択

- 機能を選択するたびに、ON（　）／OFF（　）が切り替わります。

■ モバイルデータを有効にするかどうかを設定する

データ使用量画面で「モバイルデータ」

- 「モバイルデータ」を選択するたびに、ON（　）／OFF（　）が切り替わります。
- 確認画面が表示されたときは、画面の指示に従って操作してください。

！ご注意

IP無線、Scout、システムの更新、アプリアップデータでのデータセーバー設定時の注意事項

- データセーバー（（設定）→「データ使用量」→「データセーバー」）をONにすると、対象のアプリがバックグラウンドにいるときにデータ通信ができなくなり、動作に支障がでます。
  「データセーバー」を利用する場合には、「データへの無制限アクセス」（（設定）→「データ使用量」→「データセーバー」）で対象のアプリをONに設定しご利用ください。

モバイルデータの使用量を確認する

1 （設定）→「データ使用量」

データ使用量画面が表示されます。

2 「モバイルデータ使用量」

モバイルデータ使用量画面が表示されます。

- 表示されるモバイルデータ使用量は目安であり正確な値ではありません。

アプリごとのデータ使用量を確認する

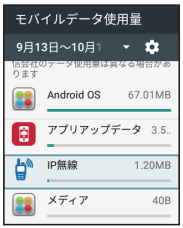
1 ⚙（設定）→「データ使用量」

データ使用量画面が表示されます。

2 「モバイルデータ使用量」

モバイルデータ使用量画面が表示されます。

3 アプリ名を選択



アプリのデータ使用量画面が表示されます。

- 表示されるアプリのデータ使用量は目安であり正確な値ではありません。

データ使用量をリセットする日を設定する

1 ⚙（設定）→「データ使用量」→「請求期間」

請求期間画面が表示されます。

- モバイルデータ使用量画面で ⚙ を選択しても、請求期間画面を表示できます。

2 「請求期間」

使用サイクルのリセット日画面が表示されます。

3　使用サイクルのリセット日を設定→「設定」

リセットする日の設定が完了します。

データ使用量が増加したときに警告する容量を設定する

1　（設定）→「データ使用量」→「請求期間」

請求期間画面が表示されます。

- モバイルデータ使用量画面で を選択しても、請求期間画面を表示できます。

2　「データ警告を設定」

3　「データ警告」

データ使用の警告の設定画面が表示されます。

- データ使用量画面で「使用量」を選択しても、データ使用の警告の設定画面を表示できます。

4　警告する容量を入力→「設定」

データ警告の容量の設定が完了します。

- データ使用量は目安です。実際の使用量とは異なる場合があります。

モバイルデータ使用量の上限を設定する

モバイルデータ使用量の上限を設定できます。

! ご注意

- 設定した上限に達すると、4G/3G の表示が消え、通知バーに アイコンが表示されてデータ通信が出来なくなります。そのため、IP 無線アプリが正常に動作しなくなり、通話も出来なくなりますのでご注意ください。

1 （設定）→「請求期間」

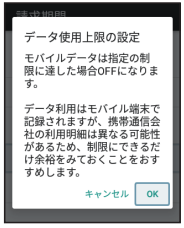
請求期間画面が表示されます。

- モバイルデータ使用量画面で を選択しても、請求期間画面を表示できます。

2 「データ上限の設定」

確認画面が表示されます。

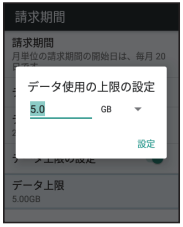
3 「OK」



4 「データ上限」

データ使用の上限の設定画面が表示されます。

5　上限値を入力→「設定」



データ使用の上限値の設定が完了します。

自動通信・同期の設定変更について

設定を変更することで、自動通信による通信量を抑制できます。
設定変更の方法は次のとおりです。

項目	説明
位置情報	位置情報の利用を無効にします。詳しくは、「位置情報の設定」（→ P.128）をご覧ください。
バックグラウンドデータの通信	バックグラウンドデータの通信を制限します。詳しくは、「バックグラウンドのモバイルデータ通信を制限する」（→ P.114）をご覧ください。

バックグラウンドのモバイルデータ通信を制限する

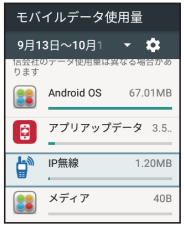
1　（設定）→「データ使用量」

データ使用量画面が表示されます。

2　「モバイルデータ使用量」

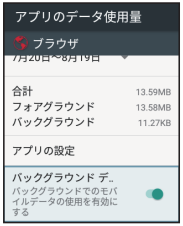
モバイルデータ使用量画面が表示されます。

3　制限したいアプリ名を選択



アプリのデータ使用量画面が表示されます。

4 「バックグラウンドデータ」



バックグラウンド通信の制限の設定が完了します。

- (決定）を押すたびに、ON（●）／OFF（○）が切り替わります

! ご注意

IP無線設定時の注意事項

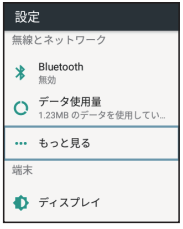
- IP 無線アプリに対してバックグラウンドでのモバイルデータの使用を無効（○）にするとバックグラウンド時に着信などができなくなります。IP 無線アプリのご使用時は有効●にしてご使用ください。

もっと見る

機内モードやモバイルネットワークなどに関する設定ができます。設定できる項目は次のとおりです。

項目	説明
機内モード	電源を入れたまま、電波を発する機能をすべて無効に設定します。（→ P.24）
VPN	VPN の接続先を設定します。
モバイル ネットワーク	優先するネットワークタイプなどを設定します。
ネットワーク設定のリセット	ネットワーク設定をすべてリセットします。

1 （設定）→「もっと見る」



無線とネットワーク画面が表示されます。

2 各項目を設定

設定が完了します。

ディスプレイ設定

画面の明るさや点灯時間（スリープ）などが設定できます。設定できる項目は次のとおりです。

項目	説明
明るさのレベル	画面の明るさを設定します。
壁紙	このメニューはご利用いただけません。
スリープ	一定時間操作をしなかったときに、画面が自動消灯するまでの時間を設定します。
フォントサイズ	画面に表示される文字の大きさを設定します。

1　（設定）→「ディスプレイ」

ディスプレイ画面が表示されます。

2　各項目を設定

設定が完了します。

ディスプレイ消灯までの時間を設定する

スリープ状態になるまでの時間を設定できます。画面ロックが設定されいる場合は、スリープ状態になると同時に画面がロックされます。

1　（設定）→「ディスプレイ」

ディスプレイ画面が表示されます。

2　「スリープ」

スリープ画面が表示されます。

3　スリープ時間を選択

ディスプレイ消灯までの時間設定が完了します。

- 画面ロックを「なし」に設定している場合は、[⏻I☎]キーを押すとスリープ状態が解除されます。
- 画面がロックされている場合は、「画面ロックを解除する」（→P.19）をご覧ください。

文字の大きさを設定する

1 ⚙（設定）→「ディスプレイ」

ディスプレイ画面が表示されます。

2 「フォントサイズ」

フォントサイズ画面が表示されます。

3 [◀][▶]で文字サイズを変更

プレビュー画面の文字サイズが変更されます。

4 [↩]

設定が完了します。

音の設定

音の設定

通知音、操作音など、音／通知に関する設定ができます。設定できる項目は次のとおりです。

項目	説明
サウンドプロファイル	サウンドプロファイルを設定することができます。お好みのサウンドプロファイルを作成／編集することもできます。（→P.119）
メディアの音量	音楽や動画などの音量を設定します。
アラームの音量	アラーム音の音量を設定します。
通知の音量	IP 無線の通知音などの音量を設定します。
バイブレーション	IP 無線の通知音と同時にバイブレータを動作させるかどうかを設定します。
デフォルトの通知音	通知音の種類を設定します。
画面ロック音	画面ロックを設定／解除したときに、音を鳴らすかどうかを設定します。
充電中の音	USB ケーブルを抜き差しして充電を開始または終了したときに、音を鳴らすかどうかを設定します。
キー操作音	キーの操作音を鳴らすかどうかを設定します。
LED ライトの点滅 ※1	画面消灯時、各種通知を LED で知らせるかどうかを設定します。
フラッシュで通知 ※1	画面消灯時、バッテリー残量が 20% 以上の場合に、各種通知をカメラのフラッシュで知らせるかどうかを設定します。
ノイズを低減する	ノイズキャンセラーを使用するかどうかを設定します。

※1 IP無線では不在着信やメッセージ受信を、その他のアプリではカレンダーやアラーム、緊急速報の通知を知らせます。

1 （設定）→「音」

音画面が表示されます。

2 各項目を設定

設定が完了します。

オリジナルサウンドプロファイルを作成する

マナーモード以外に、お好みのサウンドプロファイル（操作音の強弱やバイブレータの設定など）を作成することができます。
最大３つのプロファイルを作成できます。

1 （設定）→「音」

音画面が表示されます。

2 「サウンドプロファイル」

サウンドプロファイル画面が表示されます。

3 →「新規作成」

プロファイル名の入力画面が表示されます。

4 プロファイル名の入力→「決定」

- プロファイル名は、最大24文字まで入力可能です。
- 同じプロファイル名が登録されている場合は登録できません。

5 各項目を設定

6 [☰]→**「保存」**

設定が完了します。

- 「デフォルトに戻す」を選択すると初期値に戻ります。

■ 登録したサウンドプロファイルを変更する

⚙（設定）→「音」→「サウンドプロファイル」→変更したいプロファイルを選択→[☰]→「編集」

- 各項目を変更します。
- プロファイル名を変更したい場合は、変更したいプロファイルを選択→[☰]→「名前の変更」から登録名の変更が可能です。

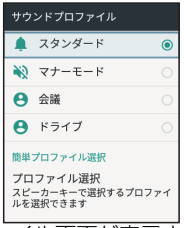
簡単プロファイル選択を設定する

[🔊]を長押しして、マナーモードやスタンダード、事前に作成したサウンドプロファイルを簡単に切り替えることができます。サウンドプロファイルの登録方法は「オリジナルサウンドプロファイルを作成する」（→P.119）をご覧ください。

1 ⚙**（設定）→「音」**

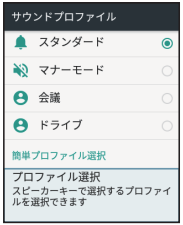
音画面が表示されます。

2 「サウンドプロファイル」



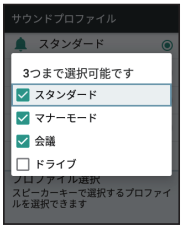
サウンドプロファイル画面が表示されます。

3 「プロファイル選択」



選択画面が表示されます。

4 プロファイルを選択



設定が完了します。

- [🔊]を長押しすると、設定プロファイルが順番に切り替わります。
- プロファイルは3つまで選択できます。
- プロファイルを切り替えると各設定が各プロファイルの初期値に戻ります。

通知音を設定する

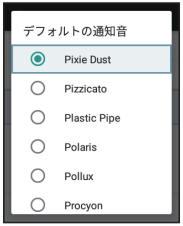
1 ⚙（設定）→「音」

音画面が表示されます。

2 「デフォルトの通知音」

デフォルトの通知音画面が表示されます。

3　設定する通知音を選択



通知音が再生されます。

！ご注意

- 画面下にある「追加 …」メニューはご利用いただけません。

4　□（決定）

設定が完了します。

！ご注意

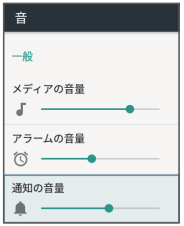
- 通知音はカレンダー機能の予定通知音などで使用されます。IP 無線では使用しておりません。

通知音の音量を設定する

1　⚙（設定）→「音」

音画面が表示されます。

2　「通知の音量」→◀ ▶で音量を設定



- ●を右にスライドすると音量が大きく、左にスライドすると音量が小さくなります。

！ご注意

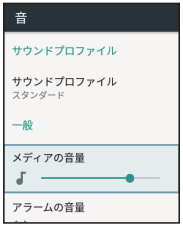
- IP 無線の着信やメッセージ受信などの通知音量も変更されます。IP 無線の各音量については、「音量ボタン（＋／－）」（→ P.41）／「音の設定」（→ P.118）をご覧ください。

操作音の音量を設定する

1 ⚙（設定）→「音」

音画面が表示されます。

2 「メディアの音量」→◀ ▶で音量を設定



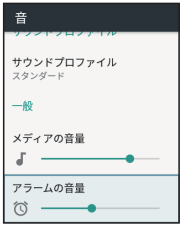
- ● を右にスライドすると音量が大きく、左にスライドすると音量が小さくなります。

アラームの音量を設定する

1 ⚙（設定）→「音」

音画面が表示されます。

2 「アラームの音量」→◀ ▶で音量を設定



- ● を右にスライドすると音量が大きく、左にスライドすると音量が小さくなります。

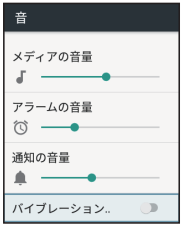
バイブレーションを設定する

通知音再生時やIP無線の着信時にバイブレーションを動作させるかどうかを設定します。

1 （設定）→「音」

音画面が表示されます。

2 「バイブレーション」



- （決定）を押すたびに、ON（）／OFF（）が切り替わります。
- マナーモードでは、バイブレーション設定することはできません。スタンダードまたは、オリジナルプロファイル（→P.119）の状態で設定してください。

ストレージの設定

ストレージの設定

本体やSDカードのストレージ容量の確認ができます。設定できる項目は次のとおりです。

項目	説明
プロパティ	本体と SD カードの合計容量／空き容量を確認します。

！ご注意

IP無線設定時の注意事項

- IP 無線の設定データを保存する場合は、フォーマットした SD カードを装着してください。

1 ⚙（設定）→「ストレージ」

ストレージの設定画面が表示されます。

2 **端末のストレージ容量を確認**

電池の設定

電池の消費を抑える設定や、電池の使用状況を確認できます。

1 ⚙（設定）→「電池」

電池の設定画面が表示されます。

2 **各項目を選択**

電池の状態が確認できます。

■ 電池の最適化をしないアプリ／機能を設定する

電池の設定画面で［⋮］→「電池の最適化」→「最適化していないアプリ」／「すべてのアプリ」→電池の最適化をしないアプリ／機能を選択

- 確認画面が表示されたときは、画面の指示に従って操作してください。
- 端末やアプリが、しばらく使用されないときは、電池消費を抑えるため、アプリは動作を終了します。

！ご注意

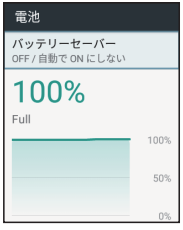
- 電池の最適化を行った場合、画面消灯中（充電中を除く）はアプリが動作せず、意図しない現象が発生することがあります。その場合は、「電池の最適化をしないアプリ／機能を設定する」（→ P.125）で設定してください。
- 電池の最適化については、IP 無線では設定できません。
- Scout、システムの更新、アプリアップデータで電池の最適化を設定すると、動作に支障がでます。
  対象のアプリは「電池の最適化をしないアプリ / 機能を設定する」で、「最適化しない」に設定して利用ください。

バッテリーセーバーを利用する

1 （設定）→「電池」

電池の設定画面が表示されます。

2 「バッテリーセーバー」



バッテリーセーバー画面が表示されます。

3 （決定）

バッテリーセーバーの設定が完了します。

- （決定）を押すたびに、ON（●）／OFF（○）が切り替わります
- バッテリーセーバーをONにすると、通知バーが橙色に変わります。
- 「自動的にON」をタップすると、電池残量に応じてバッテリーセーバーをONに設定することができます。
- バッテリーセーバーをONにすると、バイブレーション、位置情報サービス、大半のバックグラウンドデータを制限します。また、アプリアップデータ、Scoutや、同期を使用するその他のアプリは、起動しても 更新されない場合があります。機能の制限を掛けたくない場合は、バッテリーセーバーをOFFに設定してください。

アプリの確認

1　（設定）→「アプリ」

アプリ画面が表示されます。

2　各項目を選択

アプリを確認できます。

メモリの確認

メモリ（RAM）の使用状況を確認できます。

1　（設定）→「メモリ」

メモリ画面が表示されます。

2　各項目を選択

メモリの使用状況を確認できます。

- 表示するメモリの使用状況の期間を指定できます。
- アプリのメモリ使用状況を選択すると、各アプリの平均メモリ使用状況を確認できます。

位置情報の設定

位置情報の利用を設定できます。設定できる項目は次のとおりです。

項目	説明
モード	位置情報を特定するモードを設定します。
最近の位置情報リクエスト	最近の位置情報を利用したアプリを表示します。

1 （設定）→「位置情報」

位置情報画面が表示されます。

2 （決定）

位置情報がONになります。

- （決定）を押すたびに、ON（●）／OFF（○）が切り替わります。本アプリで位置情報を利用する場合はONに設定してください。
- 確認画面が表示された時は、画面の指示に従って操作してください。

3 各項目を設定

設定が完了します。

！ご注意

- IP 無線で「位置情報機能を使用する」（→ P.61）場合は、位置情報を ON にしてください。
- IP 無線の「位置情報利用有無設定」（→ P.71）が「利用する」の場合、「位置情報の設定」を「OFF」としても一定時間後に「ON」に自動で切り替わります。「位置情報の設定」を「OFF」に設定する場合は、事前に「位置情報利用有無設定」を「利用しない」としてください。

セキュリティの設定

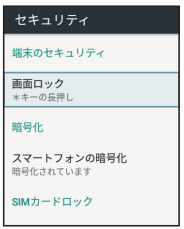
画面ロックや、SIMカードロックなどに関する設定ができます。設定できる項目は次のとおりです。

項目	説明
画面ロック	画面ロックを設定します。
スマートフォンの暗号化	本端末のデータを暗号化します。
SIM カードロック設定	SIM カードを本端末に取り付けた状態で電源を入れたときに、PIN コードを入力するかどうかを設定します。（→ P.130）
パスワードを表示する	パスワード入力時にパスワードを表示するかどうかを設定します。
端末管理アプリ	端末を管理するアプリの確認と、有効／無効の設定をします。
提供元不明のアプリ	提供元不明のアプリをインストールするかどうかを設定します。
ストレージのタイプ	ストレージのタイプを表示します。
信頼できる認証情報	信頼できる認証情報を表示します。
SD カードからインストール	この設定はご利用いただけません。
認証ストレージの消去	証明書をすべて削除します。
信頼できるエージェント	信頼できるエージェントを表示するかどうかを設定します。
使用履歴にアクセスできるアプリ	アプリの使用履歴データにアクセスできるアプリを管理します。

1 （設定）→「セキュリティ」

セキュリティ画面が表示されます。

2 各項目を設定



設定が完了します。

SIMカードロックを設定する

PINコードを有効にすることで、SIMカードを本端末に取り付けた状態で電源を入れたとき、PINコードを入力する画面を表示するように設定できます。

1 ⚙（設定）→「セキュリティ」

セキュリティ画面が表示されます。

2 「SIMカードロック設定」→「SIMカードをロック」→PINコードを入力→「OK」

PINコードが有効になります。

！ご注意

- PIN コードの入力を 3 回間違えると、PIN コードロック状態となります。その際は、PIN ロック解除コード（PUK コード）が必要となります。PUK コードについては、お問い合わせ先（→ P.146）までご連絡ください。PUK コードを 10 回間違えると、SIM カードがロックされ使用できなくなります。その際には、お買い上げの販売代理店までご連絡ください。SIM カードの再発行（有償）が必要となります。
- お買い上げ時、PIN コードは「9999」に設定されています（変更することもできます）。

PINコードを変更する

PINコードの変更は、PINコードを有効にしている場合のみ行えます。

1 ⚙（設定）→「セキュリティ」

セキュリティ画面が表示されます。

2 「SIMカードロック設定」→「SIM PINの変更」→現在のPINコードを入力→「OK」→新しいPINコードを入力→「OK」→新しいPINコードを再度入力→「OK」

PINコードが変更されます。

画面ロック（＊キーの長押し）を設定する

1 ⚙（設定）→「セキュリティ」

セキュリティ画面が表示されます。

2 「画面ロック」

画面ロックを選択画面が表示されます。

3 「＊キーの長押し」

変更前のロック解除方法が「PIN」のときは「画面ロック」を選択したあとロックを解除する操作が必要です。

画面ロック（PIN）を設定する

1 ⚙（設定）→「セキュリティ」

セキュリティ画面が表示されます。

2 「画面ロック」

画面ロックを選択画面が表示されます。

3 「PIN」

PINを選択画面が表示されます。

4　新しいPINを入力→「次へ」

5　新しいPINを再度入力→「OK」

設定が完了します。

言語と入力設定

表示言語や文字入力に関する機能を設定できます。設定できる項目は次のとおりです。

項目	説明
言語	画面に表示される言語を設定します。
Flex T9 テキスト入力	Flex T9 テキスト入力に関する設定をします。Flex T9 テキスト入力は、少ないキー操作で文字を入力し、予測・変換候補の中から目的の文字や用語を選択する入力方式です。

1　（設定）→「言語と入力」

言語と入力画面が表示されます。

2　各項目を設定

設定が完了します。

■ 言語と入力利用時の操作

表示する言語を設定する

- 言語と入力画面で「言語」→言語を選択

自動ピリオド入力の有効／無効を設定する

言語と入力画面で「Flex T9テキスト入力」→「自動ピリオド入力」

- (決定）を押すたびに、ON（　）／OFF（　）が切り替わります。

！ご注意

- 「自動ピリオド入力」機能は、本機種ではご利用いただけません。

リセット

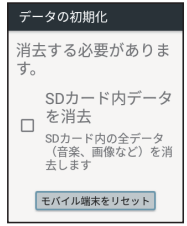
本端末のデータの初期化を行うことができます。

- 初期化すると、本端末内のすべてのデータが消去されます。事前に必要なデータはバックアップをとることをおすすめします。
- 消去された内容は元に戻せません。十分に確認したうえで操作してください。

1　（設定）→「データの初期化」

データの初期化画面が表示されます。

2 「モバイル端末をリセット」→「すべて消去 」



本端末のデータの初期化が開始されます。

- SDカード内のデータを消去にチェックを入れると、SDカードのデータも同時に初期化されます。
- ソフトウェア更新で更新した内容は維持され、アプリアップデータでアップロードした内容は初期化されます。

日付と時刻の設定

日付や時刻に関する機能を設定できます。設定できる項目は次のとおりです。

項目	説明
日付と時刻の自動設定	日付を自動的に設定します。
タイムゾーンの自動設定	ネットワークから提供されたタイムゾーンを利用するかどうかを設定します。
日付設定	日付を手動で設定します。 「日付と時刻の自動設定」を解除（ 表示）にしているときに設定できます。
時刻設定	時刻を手動で設定します。 「日付と時刻の自動設定」を解除（ 表示）にしているときに設定できます。
タイムゾーンの選択	タイムゾーンを手動で設定します。 「タイムゾーンの自動設定」を解除（ 表示）にしているときに設定できます。
24 時間表示	時刻表示を 24 時間制にするかどうかを設定します。

1 ⚙（設定）→「日付と時刻」

日付と時刻画面が表示されます。

2 **各項目を設定**

設定が完了します。

24時間表示に設定する

1 ⚙（設定）→「日付と時刻」

日付と時刻画面が表示されます。

2 「24時間表示」

- ▢（決定）を押すたびに、24時間表示（●）／12時間表示（○）が切り替わります

ユーザー補助の設定

字幕、拡大操作など、本端末を使用する上で便利なユーザー補助機能を設定できます。設定できる項目は次のとおりです。

項目	説明
字幕	動画などで字幕を表示します。
フォントサイズ	画面に表示される文字のサイズを設定します。
モノラル音声	音声再生をモノラルにするかどうかを設定します。
キー操作で振動	キーを押したときに振動で知らせるかどうかを設定します。
サウンドバランス	左右の音量バランスを設定します。

1 （設定）→「ユーザー補助」

ユーザー補助画面が表示されます。

2 各項目を設定

設定が完了します。

端末情報

本端末の状態を確認できます。確認／設定できる項目は次のとおりです。

項目	説明
システムの更新	ソフトウェア更新に関する設定をします。
端末の状態	本端末の状態を確認します。
法的情報	著作権情報や利用規約などを確認します。
モデル	モデルを確認します。
ソフトウェアバージョン	ソフトウェアバージョンを確認します。
セキュリティパッチレベル	適用されているセキュリティパッチのレベルを確認します。
ベースバンドバージョン	ベースバンドバージョンを確認します。
カーネルバージョン	カーネルバージョンを確認します。
ビルド番号	ビルド番号を確認します。

1　（設定）→「端末情報」

端末情報画面が表示されます。

2　各項目を確認

端末情報が確認できます。

9　困ったときは

トラブルシューティング..... 140

トラブルシューティング

故障とお考えになる前に

気になる症状の内容を確認しても症状が改善されない場合は、お買い上げ販売店までご連絡ください。

充電が開始されない

- 電池が空になっていた可能性があります。
  一定時間経過したら充電が開始されるかご確認ください。

充電時にLEDが点灯しない

- 接続が正しくされていない可能性があります。本端末のUSB接続端子からUSB Type-Cプラグを抜き、再度、奥までプラグを差しなおしてください。
- 電池パックが正しく取り付けられていない可能性があります。再度電池パックを取り付けなおしてください。
- 端子にゴミなどが付着している可能性があります。電池パックの接続部、本体の各端子などに汚れがないこと確認の上、再度取り付けなおしてください。

ACアダプタによって充電時間が長くなる

- 急速充電用以外のACアダプタを使用した場合、充電速度が遅くなる場合があります。
  ソフトバンク指定のACアダプタ（USB Type-C Quick Charge 3.0対応）［ZSCAZX］（SoftBank SELECTION製 USBType-C 急速充電ACアダプタ［SB-AC17-TCQC］）をご利用ください。

操作をしていないのに電池の消耗が早い

- アプリが操作をしていない状態でも通信を行っている場合があります。
  「バックグラウンドのモバイルデータ通信を制限する」（→P.114）をご覧頂き、設定を行うことで改善する可能性があります。

特定の場所で電池の消耗が早い

- 電波の弱い場所や圏外の場所に長時間いると電池の消耗が早くなる場合があります。電波状況の良いところでご利用ください。

電池の消耗を抑えたい

- 電池の消費を抑える省電力機能の設定をオンにすると電池の消耗が改善される可能性があります。
  「バッテリーセーバーを利用する」（→P.126）をご覧ください。

発信／着信しない

- 待受画面の通話状態表示部が灰色になっている場合は、電波の弱い場所や圏外にいる可能性があります。電波状況がよいところに移動してください。
- 「無線機情報（接続設定）」が正しく設定されていない可能性があります。「無線機情報について」（→P.41）をご覧ください。
- ご利用規約に同意していない可能性があります。ご利用規約に同意いただかないとIP無線の機能が使えません。

音声を送信できない

- PTTスイッチを押し続けていますか。PTTスイッチを押し続けている間、音声が送信されます。
- PTTスイッチを押してから間を空けずに話し始めると、通話の頭が途切れることがあります。このような場合はPTTスイッチを押して、一呼吸おいてから話し始めてください。
- 「各種キー利用設定」のPTTスイッチ利用設定によっては、PTTスイッチが無効となります。

相手の声が聞こえない

- 音量設定は適切ですか。
- 通話が途切れる場合は、電波状況がよいところに移動してください。

通話が切断される

- 通話開始から5分を経過すると、自動的に通話が切断されます。
- 無通話状態が続いていませんか。無通話状態が続いた場合、「無通話タイムアウト」（→P.70）で設定した時間が経過すると、自動的に切断されます。
- 「圏外時、切断ON／OFF設定」（→P.76）の設定によっては、電波状態が悪くなったときに通話が切断される場合があります。

メッセージを送受信できない

- 電波の弱い場所や圏外の場所にいませんか。電波状況がよいところに移動してください。
- 「メッセージ送信設定」（→P.72）にチェックを入れないとメッセージを送信できません。
- 指令局、位置情報サービスにはメッセージを送信できません。
- 本端末が指令局の場合は、メッセージを送受信できません。

SDカードが認識されない

- SDカードがフォーマットされていないか、SDカードが壊れている可能性があります。
- SDカードがフォーマットされていない場合は、PC等のフォーマットできる機器を使ってフォーマットしてください。
- SDカードが壊れている場合は、別のSDカードを使用してください。

IP無線アプリから通信ができない

- 「機内モード」になっている可能性があります。
  「機内モードについて」（→P.24）をご覧頂き、機内モードを解除してください。

アンテナマークに「4G」「3G」の表示がない

- 「モバイルデータ通信」がオフになっている可能性があります。
  ⚙（設定）→「データ使用量」→「モバイルデータ」（●表示）で設定をご確認ください。

位置情報が利用できない

- 「位置情報利用有無設定」（→P.71）にチェックを入れないと位置情報機能を利用できません。
- 本端末が指令局の場合は、位置情報機能を利用できません。
- 屋内やトンネルなどのGPS衛星の電波がさえぎられる場所にいる場合には、位置情報が送信できず、誤差が生じる場合があります。電波状況、見晴らしのよいところに移動してください。

非常送信機能（RED ALERT）がパスワードを入力しても解除できない

- RED ALERT解除のパスコードやパスワードが間違っていませんか。設定したパスコードやパスワードを忘れた場合には本端末を初期化する必要があるため、忘れないようにしてください。

音量を上げてもビープ音が聞こえない

- オーディオアクセサリー（スピーカーマイクやBluetoothヘッドセットなど）のご利用時は、キーの操作音や通知音などのビープ音が鳴らなかったり、非常に小さく聞こえたりする場合があります 。

Bluetooth®機能を利用できない

- 機内モードではありませんか。機内モードを設定すると、Bluetooth®機能は無効になります。機内モードを設定したあと、再度Bluetooth®機能を有効にすることができます。

10 保証／仕様／お問い合わせ先／使用許諾

保証とアフターサービス..... 144
仕様 145
お問い合わせ先一覧 146
使用許諾について 147

保証とアフターサービス

保証について

本端末をお買い上げいただいた場合は、保証書が付いております。

- 販売店名、お買い上げ日をご確認ください。
- 内容をよくお読みのうえ、大切に保管してください。
- 保証期間は、保証書をご覧ください。

！ご注意

- 損害について
  本端末の故障、誤作動または不具合などにより、通話などの機会を逸したために、お客様、または第三者が受けられた損害につきましては、当社は責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
- 故障・修理について
  故障または修理により、お客様が登録／設定した内容が消失／変化する場合がありますので、大切な情報は控えをとっておかれることをおすすめします。なお、故障または修理の際に本端末に登録したデータ（番号帳／画像／サウンドなど）や設定した内容が消失／変化した場合の損害につきましては、当社は責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
- 分解・改造について
  本端末を分解／改造すると、電波法にふれることがあります。また、改造された場合は修理をお引き受けできませんので、ご注意ください。

アフターサービスについて

修理を依頼される場合、お買い上げの販売代理店へご相談ください。その際、できるだけ詳しく異常の状態をお聞かせください。

- 保証期間中は保証書の記載内容に基づいて修理いたします。
- 保証期間後の修理につきましては、修理により機能が維持できる場合は、ご要望により有償修理いたします。

お知らせ

- ご不明な点について
  アフターサービスについてご不明な点は、最寄りの販売代理店またはお問い合わせ先までご連絡ください。

仕様

本体

項目	説明
通信方式・周波数	3G（W-CDMA）：900MHz 帯、2.1GHz 帯 4G LTE（FDD-LTE）：700MHz 帯、900MHz 帯、1.7GHz 帯、2.1GHz 帯 4G（AXGP）：2.5GHz 帯
サイズ （幅 × 高さ × 厚さ）	約 64 mm× 141 mm× 23 mm
重さ （電池パック含む）	約 264g
通信形態	プレストーク方式
使用可能時間 ※1	約 14 時間（受信 1：送信 1：待受 8 の割合で使用した場合）
連続待受時間 ※1	約 23 時間
充電時間	約 125 分
ディスプレイ	約 2.64 インチ TFT 液晶
カメラ	有効画素数約 500 万画素
防水／防じん	IP68※2

項目		説明
耐久性		MIL-STD-810G の下記項目に準拠 高温動作／保管、低温動作／保管、温度衝撃、耐衝撃（落下、衝撃）、耐日射、防湿、耐振動、塩水噴霧
Bluetooth®		Ver. 4.2
内蔵メモリ	ROM	16 GB
	RAM	2 GB
音声最大出力		0.8W x 2 （デュアルスピーカー搭載）

※1 電波状況や使用環境により変動します。

※2 IPとは、「IEC（国際電気標準会議）」によって定められている防水・防じんの保護規格です。IPに続く2ケタの数字の左側が「防じん等級」右側が「防水等級」を表し、IPX8とは、常温で水道水、かつ静水の水深2.0mのところに電話機を静かに沈め、約30分間放置後に取り出したときに電話機としての機能を有することを意味します。高温のお湯や冷水につけたり、高温のお湯や冷水をかけたりしないでください。IP6Xとは、直径75μm以下の塵埃（じんあい）が入った装置に電話機を8時間入れて攪拌（かくはん）させた後、本商品の内部に塵埃が侵入しない機能を有することを意味します。

- 数値は目安となり、ご利用環境、設定によって異なる場合があります。

電池パック

項目	説明
電圧	3.7 V
使用電池	リチウムイオン電池
容量	3,180 mAh
サイズ（幅 × 高さ × 奥行）	約 44×65×10 mm

お問い合わせ先一覧

お困りのときや、ご不明な点がございましたら、お買い上げの販売代理店までご連絡ください。

盗難に遭った場合

本端末が盗難に遭った場合は、必ず緊急利用停止の手続きを行ってください。

■ ソフトバンク・ビジネスコールセンター

0800-919-3909（無料）

連絡していただきたい項目

① 商品名（801KW 標準セット）

② お客様会社名・事業所名および機関名、所在地、ご担当者氏名

③ ご連絡先電話番号

ご利用を停止される場合

本端末のご利用を停止される場合は、ご利用停止の手続きを行ってください。

■ ソフトバンク・ビジネスコールセンター

0800-919-3909（無料）

連絡していただきたい項目

① 商品名（801KW 標準セット）

② お客様会社名・事業所名および機関名、所在地、ご担当者氏名

③ ご連絡先電話番号

④ ご利用停止予定日

使用許諾について

ソフトウェア使用許諾契約書

株式会社ＪＶＣケンウッド（以下、「ライセンサー」）が提供する本製品に組み込まれたソフトウェア（以下「許諾ソフトウェア」）は、ライセンサーが著作権を有するか、又は再使用許諾をする権利を有します。本契約はこの「許諾ソフトウェア」に関するお客様のご使用条件を定めたものです。
お客様は本件使用許諾契約書の内容に同意のうえ、この「許諾ソフトウェア」をご使用いただくものと致します。本契約は、お客様（以下、「使用者」）が「許諾ソフトウェア」を搭載した本製品をご使用された時点で、成立したものと見なされます。
なお、許諾ソフトウェアにはライセンサーが第三者から直接的に又は間接的に使用の許諾を受けたソフトウェアが含まれている場合があります。この場合、一部の第三者は本ソフトウェア使用許諾契約書とは別に、お客様に対して直接使用条件を定めております。かかるソフトウェアについては、本契約書は適用されませんので別途提示させていただきます「ソフトウェアに関する重要なお知らせ」を必ずご覧ください。

第１条　（総則）

ライセンサーは、許諾ソフトウェアについて、日本国内における非独占的かつ譲渡不能な使用権（第３条第１項に定める例外を除く）を使用者に許諾します。

第２条　（使用権）

1. 本契約によって生ずる使用権とは、許諾ソフトウェアを本製品で使用する権利をいいます。
2. 使用者は許諾ソフトウェア及び関連書類の一部もしくは全部を複製、複写、修正、追加、翻訳等の改変し、もしくは貸与することができません。
3. 許諾ソフトウェアの使用は私的範囲に限定されるものとします。許諾ソフトウェアは営利目的か否かに関わらず、いかなる目的でも頒布、ライセンス、もしくはサブライセンスをすることができません。
4. 使用者は、許諾ソフトウェアを取扱説明書またはヘルプファイルに記載の使用方法に沿って使用するものとし、許諾ソフトウェアの全部または一部を用いて著作権法等の法規に違反するデータの使用、複製を行ってはならないものとします。

第３条　（許諾条件）

1. 使用者は、本製品を譲渡する場合、内在する許諾ソフトウェア（その関連資料、アップデート版、アップグレード版を含む）の使用権についても同様に移転することができます。但し、当該移転は、使用者の手元にオリジナル及び一切の複製物、関連資料を残さない事、又譲受人を本ソフトウェア使用許諾契約に従わせることを条件とします。
2. 使用者は許諾ソフトウェアに関し、リバースエンジニアリング、逆アセンブル、逆コンパイル等のコード解析作業を行ってはならないものとします。

第４条　（許諾ソフトウェアの権利）

1. 許諾ソフトウェア及びその関連書類に関する著作権等の一切の権利は、ライセンサーまたはライセンサーに許諾ソフトウェアの使用権と再許諾権を許諾した原権利者（以下、「原権利者」）に帰属するものとします。使用者は許諾ソフトウェア及びその関連書類に関して、本契約に基づき許諾された使用権を除き、いかなる権利も有するものではありません。
2. 使用者は許諾ソフトウェアの使用に際し、著作権及び知的財産権に関連する法律に従うものとします。

第５条　（ライセンサーの免責）

1. ライセンサー及び原権利者は、使用者が本契約に基づき許諾された使用権を行使した結果、使用者もしくは第三者に生じた損害に関して、いかなる責任も負わないものとします。但し、これを制限する別途法律の定めがある場合はこの限りではありません。
2. ライセンサーは「許諾ソフトウェア」について商品性、互換性及び特定目的に合致していることを保証致しません。

第６条　（第三者に対する責任）

使用者が許諾ソフトウェアを使用することにより、第三者との間で著作権、特許権その他の知的財産権の侵害を理由として紛争が生じたときは、使用者自身が自らの費用で解決するものとし、ライセンサー及び原権利者に一切の迷惑をかけないものとします。

第７条　（秘密保持）

使用者は、本契約により提供される許諾ソフトウェア、その関連書類等の情報及び本契約の内容のうち、公然と知らされていないものについて秘密を保持するものとし、ライセンサーの承諾を得ることなく第三者に開示または漏洩しないものとします。

第８条　（契約の解除）

ライセンサーは、使用者において次の各号の一に該当する事由があるときは、直ちに本契約を解除し、またはそれによって蒙った損害の賠償を使用者に対し請求できるものとします。

（１）本契約に定める条項に違反したとき

（２）差押、仮差押、仮処分その他強制執行の申立を受けたとき

第９条　（許諾ソフトウェアの廃棄）

前条の規定により本契約が解除された場合、使用者は、契約が解除された日から２週間以内に許諾ソフトウェア、関連書類及びその複製物を廃棄するものとします。

第１０条　（輸出規制）

1. 使用者は、許諾ソフトウェアが日本国およびアメリカ合衆国の輸出に関する規制の対象となることを了承するものとします。
2. 使用者は、本ソフトウェアに適用される一切の国際法および国内法（アメリカ合衆国の輸出管理規制、アメリカ合衆国、日本国及びその他の政府機関が定めるエンドユーザー、エンドユーザーによる使用及び輸出対象国に関する規制を含みます）に従うことに同意するものとします。

第１１条　（その他）

1. 本契約の一部が法律によって無効となった場合でも、当該条項以外は有効に存続するものとします。
2. 本契約に定めなき条項もしくは本契約の解釈に疑義を生じた場合には、ライセンサー、使用者は誠意をもって協議し、解決するものとします。
3. ライセンサー及び使用者は、本契約が日本国の法律に準拠し、本契約から生ずる権利義務に関する紛争については、東京地方裁判所をもって第一審の専属的合意管轄裁判所とする事に合意するものとします。

ソフトウェアに関する重要なお知らせ

本製品のソフトウェアライセンスについて

本製品に組み込まれたソフトウェアは、複数の独立したソフトウェアコンポーネントで構成され、個々のソフトウェアコンポーネントは、それぞれに株式会社JVCケンウッドまたは第三者の著作権が存在します。
本製品は、株式会社JVCケンウッド及び第三者が規定したソフトウェア使用許諾契約に基づくソフトウェアコンポーネント（以下、「許諾ソフトウェア」といいます）を使用しております。
許諾ソフトウェアの中には、フリーソフトウェアに該当するものがあり、GNU General Public License または GNU Lesser General Public License（ 以下、「GPL/LGPL」といいます）のライセンスに基づき実行形式のソフトウェアコンポーネントを配布する条件として、当該コンポーネントのソースコードの入手を可能にするように求めています。当該「GPL/LGPL」の対象となるソフトウェアコンポーネントに関しては、以下のホームページをご覧頂くようお願い致します。

ホームページアドレス：
http://www.kenwood.com/gpl/j.html

なお、ソースコードの内容等についてのご質問はお答えしかねますので、予め御了承ください。
「GPL/LGPL」の適用を受けない許諾ソフトウェア及び株式会社JVCケンウッド自身が開発もしくは作成したソフトウェアコンポーネントは、ソースコード提供の対象とはなりませんのでご了承ください。
「GPL/LGPL」に基づいて配布されるソフトウェアコンポーネントは無償でお客様に使用許諾されますので、適用法令の範囲内で、当該ソフトウェアコンポーネントの保証は、明示かつ黙示であるかを問わず一切ありません。適用法令の定め、又は書面による合意がある場合を除き、著作権者や上記許諾を受けて当該ソフトウェアコンポーネントの変更・再配布を為し得る者は、当該ソフトウェアコンポーネントを使用したこと、又は使用できないことに起因する一切の損害についてなんらの責任も負いません。当該ソフトウェアコンポーネントの使用条件や遵守いただかなければならない事項等の詳細は、各「GPL/LGPL」をお読みください。

本製品に組み込まれた「GPL/LGPL」の対象となるソフトウェアコンポーネントをお客様自身でご利用頂く場合は、対応するライセンスをよく読んでから、ご利用くださるようお願い致します。なお各ライセンスは株式会社JVCケンウッド以外の第三者による規定のため、原文（英文）を本製品のディスプレイ内で表示します。

次の操作で、本体ファームウェアで使用しているソフトウェアライセンスを確認できます

（設定）→「端末情報」→「法的情報」→「オープンソースライセンス」

また、本機の下記フォルダに格納されているIP無線アプリケーションが使用するソフトウェアライセンスについては、以下の原文（英文）をご覧ください。

/system/priv-app/IpRadioApp/IpRadioApp.apk

Apache License
Version 2.0, January 2004
http://www.apache.org/licenses/

TERMS AND CONDITIONS FOR USE, REPRODUCTION, AND DISTRIBUTION

1. Definitions.

   “License” shall mean the terms and conditions for use, reproduction, and distribution as defined by Sections 1 through 9 of this document.

   “Licensor” shall mean the copyright owner or entity authorized by the copyright owner that is granting the License.

   “Legal Entity” shall mean the union of the acting entity and all other entities that control, are controlled by, or are under common control with that entity. For the purposes of this definition, “control” means (i) the power, direct or indirect, to cause the direction or management of such entity, whether by contract or otherwise, or (ii) ownership of fifty percent (50%) or more of the outstanding shares, or (iii) beneficial ownership of such entity.

   “You” (or “Your”) shall mean an individual or Legal Entity exercising permissions granted by this License.

   “Source” form shall mean the preferred form for making modifications, including but not limited to software source code, documentation source, and configuration files.

   “Object” form shall mean any form resulting from mechanical transformation or translation of a Source form, including but not limited to compiled object code, generated documentation, and conversions to other media types.

   “Work” shall mean the work of authorship, whether in Source or Object form, made available under the License, as indicated by a copyright notice that is included in or attached to the work (an example is provided in the Appendix below).

   “Derivative Works” shall mean any work, whether in Source or Object form, that is based on (or derived from) the Work and for which the editorial revisions, annotations, elaborations, or other modifications represent, as a whole, an original work of authorship. For the purposes of this License, Derivative Works shall not include works that remain separable from, or merely link (or bind by name) to the interfaces of, the Work and Derivative Works thereof.

"Contribution" shall mean any work of authorship, including the original version of the Work and any modifications or additions to that Work or Derivative Works thereof, that is intentionally submitted to Licensor for inclusion in the Work by the copyright owner or by an individual or Legal Entity authorized to submit on behalf of the copyright owner. For the purposes of this definition, "submitted" means any form of electronic, verbal, or written communication sent to the Licensor or its representatives, including but not limited to communication on electronic mailing lists, source code control systems, and issue tracking systems that are managed by, or on behalf of, the Licensor for the purpose of discussing and improving the Work, but excluding communication that is conspicuously marked or otherwise designated in writing by the copyright owner as "Not a Contribution."

"Contributor" shall mean Licensor and any individual or Legal Entity on behalf of whom a Contribution has been received by Licensor and subsequently incorporated within the Work.

2. Grant of Copyright License. Subject to the terms and conditions of this License, each Contributor hereby grants to You a perpetual, worldwide, non-exclusive, no-charge, royalty-free, irrevocable copyright license to reproduce, prepare Derivative Works of, publicly display, publicly perform, sublicense, and distribute the Work and such Derivative Works in Source or Object form.

3. Grant of Patent License. Subject to the terms and conditions of this License, each Contributor hereby grants to You a perpetual, worldwide, non-exclusive, no-charge, royalty-free, irrevocable (except as stated in this section) patent license to make, have made, use, offer to sell, sell, import, and otherwise transfer the Work, where such license applies only to those patent claims licensable by such Contributor that are necessarily infringed by their Contribution(s) alone or by combination of their Contribution(s) with the Work to which such Contribution(s) was submitted. If You institute patent litigation against any entity (including a cross-claim or counterclaim in a lawsuit) alleging that the Work or a Contribution incorporated within the Work constitutes direct or contributory patent infringement, then any patent licenses granted to You under this License for that Work shall terminate as of the date such litigation is filed.

4. Redistribution. You may reproduce and distribute copies of the Work or Derivative Works thereof in any medium, with or without modifications, and in Source or Object form, provided that You meet the following conditions:

(a) You must give any other recipients of the Work or Derivative Works a copy of this License; and

(b) You must cause any modified files to carry prominent notices stating that You changed the files; and

(c) You must retain, in the Source form of any Derivative Works that You distribute, all copyright, patent, trademark, and attribution notices from the Source form of the Work, excluding those notices that do not pertain to any part of the Derivative Works; and

(d) If the Work includes a “NOTICE” text file as part of its distribution, then any Derivative Works that You distribute must include a readable copy of the attribution notices contained within such NOTICE file, excluding those notices that do not pertain to any part of the Derivative Works, in at least one of the following places: within a NOTICE text file distributed as part of the Derivative Works; within the Source form or documentation, if provided along with the Derivative Works; or, within a display generated by the Derivative Works, if and wherever such third-party notices normally appear. The contents of the NOTICE file are for informational purposes only and do not modify the License. You may add Your own attribution notices within Derivative Works that You distribute, alongside or as an addendum to the NOTICE text from the Work, provided that such additional attribution notices cannot be construed as modifying the License.

You may add Your own copyright statement to Your modifications and may provide additional or different license terms and conditions for use, reproduction, or distribution of Your modifications, or for any such Derivative Works as a whole, provided Your use, reproduction, and distribution of the Work otherwise complies with the conditions stated in this License.

5. Submission of Contributions. Unless You explicitly state otherwise, any Contribution intentionally submitted for inclusion in the Work by You to the Licensor shall be under the terms and conditions of this License, without any additional terms or conditions. Notwithstanding the above, nothing herein shall supersede or modify the terms of any separate license agreement you may have executed with Licensor regarding such Contributions.
6. Trademarks. This License does not grant permission to use the trade names, trademarks, service marks, or product names of the Licensor, except as required for reasonable and customary use in describing the origin of the Work and reproducing the content of the NOTICE file.

7. Disclaimer of Warranty. Unless required by applicable law or agreed to in writing, Licensor provides the Work (and each Contributor provides its Contributions) on an “AS IS” BASIS, WITHOUT WARRANTIES OR CONDITIONS OF ANY KIND, either express or implied, including, without limitation, any warranties or conditions of TITLE, NON-INFRINGEMENT, MERCHANTABILITY, or FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE. You are solely responsible for determining the appropriateness of using or redistributing the Work and assume any risks associated with Your exercise of permissions under this License.

8. Limitation of Liability. In no event and under no legal theory, whether in tort (including negligence), contract, or otherwise, unless required by applicable law (such as deliberate and grossly negligent acts) or agreed to in writing, shall any Contributor be liable to You for damages, including any direct, indirect, special, incidental, or consequential damages of any character arising as a result of this License or out of the use or inability to use the Work (including but not limited to damages for loss of goodwill, work stoppage, computer failure or malfunction, or any and all other commercial damages or losses), even if such Contributor has been advised of the possibility of such damages.

9. Accepting Warranty or Additional Liability. While redistributing the Work or Derivative Works thereof, You may choose to offer, and charge a fee for, acceptance of support, warranty, indemnity, or other liability obligations and/or rights consistent with this License. However, in accepting such obligations, You may act only on Your own behalf and on Your sole responsibility, not on behalf of any other Contributor, and only if You agree to indemnify, defend, and hold each Contributor harmless for any liability incurred by, or claims asserted against, such Contributor by reason of your accepting any such warranty or additional liability.

END OF TERMS AND CONDITIONS

APPENDIX: How to apply the Apache License to your work.

To apply the Apache License to your work, attach the following boilerplate notice, with the fields enclosed by brackets “[]” replaced with your own identifying information. (Don't include the brackets!) The text should be enclosed in the appropriate comment syntax for the file format. We also recommend that a file or class name and description of purpose be included on the same “printed page” as the copyright notice for easier identification within third-party archives.

Copyright [yyyy] [name of copyright owner]

Licensed under the Apache License, Version 2.0 (the “License”);
you may not use this file except in compliance with the License.
You may obtain a copy of the License at

http://www.apache.org/licenses/LICENSE-2.0

Unless required by applicable law or agreed to in writing, software distributed under the License is distributed on an “AS IS” BASIS, WITHOUT WARRANTIES OR CONDITIONS OF ANY KIND, either express or implied. See the License for the specific language governing permissions and limitations under the License.

801KW 取扱説明書

携帯電話・PHS事業者は、環境を保護し貴重な資源を再利用するために、お客様が不要となってお持ちになる
通信端末・付属品類をブランド・メーカーを問わず左記のマークのあるお店で回収し、リサイクルを行っています。
※回収した通信端末・付属品類はリサイクルするためご返却できません。
※プライバシー保護の為、端末に記憶されているお客様の情報（アドレス帳・通話履歴・メール等）は、事前に消去願います。